

第79回国民スポーツ大会  
第24回全国障害者スポーツ大会  
滋賀県開催準備委員会

第10回常任委員会



令和3年8月3日（火）

大津プリンスホテル2階

「コンベンションホール淡海」

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

2025



キャッフィー

キャッフィー

# 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 滋賀県開催準備委員会 第10回常任委員会 次第

日 時：令和3年8月3日(火) 13:30～14:15

場 所：大津プリンスホテル2階

「コンベンションホール淡海」

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 報告事項

- (1) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 イメージソングについて
- (2) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 花いっぱい運動の推奨花について
- (3) 第79回国民スポーツ大会 競技施設基準の改正について

## 4 審議事項

- (1) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 会期 (案)
- (2) 第79回国民スポーツ大会 正式競技会場地市町第八次内定 (案)
- (3) 第79回国民スポーツ大会 正式競技開催予定施設変更 (案)
- (4) 第79回国民スポーツ大会 競技施設整備計画 (第3次) (案)
- (5) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 式典基本構想 (案)

## 5 閉 会

# 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 滋賀県開催準備委員会 第10回常任委員会資料 目次

## 【報告事項】

ページ

### <報告事項1>

- 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会  
イメージソングについて . . . . . 4

### <報告事項2>

- 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会  
花いっぱい運動の推奨花について . . . . . 5

### <報告事項3>

- 第79回国民スポーツ大会 競技施設基準の改正について . . . . . 7

## 【審議事項】

### <第1号議案>

- 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 会期（案） . . . 18

### <第2号議案>

- 第79回国民スポーツ大会 正式競技会場地市町第八次内定（案） . . . . . 19

### <第3号議案>

- 第79回国民スポーツ大会 正式競技開催予定施設変更（案） . . . . . 20

### <第4号議案>

- 第79回国民スポーツ大会 競技施設整備計画（第3次）（案） . . . . . 25

### <第5号議案>

- 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会  
式典基本構想（案） . . . . . 31

**【参考資料】**

- 第79回国民スポーツ大会 会場地市町選定基本方針 . . . . . 52
- 第79回国民スポーツ大会 会場地市町選定基準 . . . . . 53

# 報 告 事 項

## 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 イメージソングについて

広報・県民運動専門委員会に委任された本事項について、審議の結果、以下のとおり決定されたので、第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会会則第 13 条第 2 項の規定により報告する。

### 1 制作経緯

第 79 回国民スポーツ大会および第 24 回全国障害者スポーツ大会の機運醸成を図るため、令和 2 年度、県開催準備委員会広報・県民運動専門委員会においてイメージソングの制作を進め、令和 3 年 3 月の第 20 回広報・県民運動専門委員会でイメージソングを決定した。

なお、制作者、歌唱者など楽曲関連情報が完成披露前に公になることは広報活動に支障を及ぼすおそれがあることから同専門委員会は非公開で進められた。

### 2 制作者の概要等

甲賀市出身の手話シンガーソングライターである yokko（ヨッコ）さんに制作を委託した。

滋賀を拠点に「手話と歌で笑顔になろう」をテーマに教育現場や福祉施設、地域のイベント等で手話と歌を用いた講演ライブを行うほか、各種テーマソングの制作、イベントの司会や CM ナレーション、キャラクター声優としても活動中。

なお、歌唱者も同人である。

### 3 制作内容

愛称「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」およびスローガン「湖国の感動 未来につなぐ」の趣旨を広く伝えられるような、明るく爽やかで親しみやすく、どんな世代にも気軽に口ずさんでもらえるような曲を目指した。

なお、詳細な楽曲情報や音源については、県開催準備委員会総会での完成披露により公開を予定している。

### 4 完成披露

令和 3 年 8 月 県開催準備委員会総会

### 5 イメージソングの活用

「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」の機運醸成のために、あらゆる場面で PR に活用する。

#### 【具体例】

- ・国スポ・障スポ関連のイベントや広報における活用
- ・県庁、市町村庁舎、学校、その他公共機関等の館内放送や商業施設等での放送
- ・合唱バージョン等の学校等での活用
- ・総合開・閉会式の式典プログラムや各競技会場での放送 など

※より多くの方に様々な場面で活用してもらえるよう、合唱バージョン、吹奏楽バージョン、BGMバージョンを制作予定。

## 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 花いっぱい運動の「推奨花」について

広報・県民運動専門委員会に委任された本事項について、審議の結果、以下のとおり決定されたので、第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会会則第 13 条第 2 項により報告する。

### 1. 趣旨

令和 7 年（2025 年）に本県で開催する国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に全国から来県する選手や観戦者をたくさんの花で歓迎する「花いっぱい運動」を展開するにあたって、県民に育てていただくおすすめの花として推奨花を選定し、総合開会式・閉会式会場や競技会場、駅、道路、その他周辺地域等を装飾するための花として活用する。

### 2. 推奨花の選定基準

- (1) 病害虫に強く、比較的育てやすいこと
- (2) 開花期間が長く、開催期間中（9 月下旬～10 月末）見頃であること
- (3) 花壇やプランターでの栽培に適していること（草丈含む）
- (4) 種苗が入手しやすく、安価であること

※上記選定基準に関わらず、滋賀らしさをアピールできる花（滋賀で栽培が盛んな花や滋賀ゆかりの花等）を選定することができる。

### 3. 推奨花（10 種）

サルビア



ベゴニア



ニチニチソウ



コスモス（キバナコスモスを含む）



マリーゴールド



ナデシコ



コリウス



ヒヤクニチソウ



インパチェンス



ビオラ



## 第 79 回国民スポーツ大会 競技施設基準の改正について

総務企画専門委員会に委任された本事項について、審議の結果、以下のとおり決定されたので、第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会会則第 13 条第 2 項により報告する。

### <改正の要旨>

競技団体が定める競技規則等の改正を反映するもの。

### <対象競技>

- ・セーリング
- ・ソフトテニス
- ・スポーツクライミング
- ・アーチェリー
- ・空手道

### <改正内容>

別添、新旧対照表のとおり。

(改正前)

令和3年(2021年)1月20日  
第13回総務企画専門委員会決定

# 第79回国民スポーツ大会 競技施設基準



第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

滋賀県開催準備委員会

(改正後)

令和3年(2021年)6月7日  
第15回総務企画専門委員会決定

# 第79回国民スポーツ大会 競技施設基準



第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

滋賀県開催準備委員会

(改正前)  
第79回国民スポーツ大会競技施設基準について

第79回国民スポーツ大会の開催準備を計画的かつ円滑に推進するために定めたものである。

- 1 この競技施設基準は、国民体育大会開催基準要項細則第2項に規定する施設基準および各競技の競技規則等ならびに先催県の例等に基づき、競技場の規模を中心に定めたものである。
- 2 大会運営上および管理上必要な施設・面積等については、省略してあるものがあり、さらに関連する施設・面積等の確保が必要になる場合がある。
- 3 この競技施設基準に定めるもののほか、細部については、それぞれ各競技の競技規則等によるものとする。
- 4 この競技施設基準は、県および開催市町等において、各中央競技団体等と調整を行い、弾力的な運用ができるものとする。
- 5 この競技施設基準の内容については、国民体育大会開催基準要項および各競技の競技規則等の改正に伴い、変更する場合がある。

※平成26年（2014年）2月14日より適用する。  
※平成30年（2018年）4月16日より適用する。  
※平成31年（2019年）4月24日より適用する。  
※令和 3年（2021年）1月20日より適用する。

《競技施設基準の見方》

- 「基準」および「摘要」欄  
国民体育大会開催基準要項細則に定められている事項。
- 「基準の主な内容」欄  
競技場に関して各競技の競技規則等に定められているもので主な事項。
- 「配慮すべき事項」欄  
各競技の競技規則等には定めはないが、運営上、競技会の安全な開催および先催県の例等から検討が必要と考えられる事項。
- 「先催県の事例」欄  
先催県における競技施設基準の弾力的な運用事例。

(改正後)  
第79回国民スポーツ大会競技施設基準について

第79回国民スポーツ大会の開催準備を計画的かつ円滑に推進するために定めたものである。

- 1 この競技施設基準は、国民体育大会開催基準要項細則第2項に規定する施設基準および各競技の競技規則等ならびに先催県の例等に基づき、競技場の規模を中心に定めたものである。
- 2 大会運営上および管理上必要な施設・面積等については、省略してあるものがあり、さらに関連する施設・面積等の確保が必要になる場合がある。
- 3 この競技施設基準に定めるもののほか、細部については、それぞれ各競技の競技規則等によるものとする。
- 4 この競技施設基準は、県および開催市町等において、各中央競技団体等と調整を行い、弾力的な運用ができるものとする。
- 5 この競技施設基準の内容については、国民体育大会開催基準要項および各競技の競技規則等の改正に伴い、変更する場合がある。

※平成26年（2014年）2月14日より適用する。  
※平成30年（2018年）4月16日より適用する。  
※平成31年（2019年）4月24日より適用する。  
※令和 3年（2021年）1月20日より適用する。  
※令和 3年（2021年）6月 7日より適用する。

《競技施設基準の見方》

- 「基準」および「摘要」欄  
国民体育大会開催基準要項細則に定められている事項。
- 「基準の主な内容」欄  
競技場に関して各競技の競技規則等に定められているもので主な事項。
- 「配慮すべき事項」欄  
各競技の競技規則等には定めはないが、運営上、競技会の安全な開催および先催県の例等から検討が必要と考えられる事項。
- 「先催県の事例」欄  
先催県における競技施設基準の弾力的な運用事例。

(改正前)

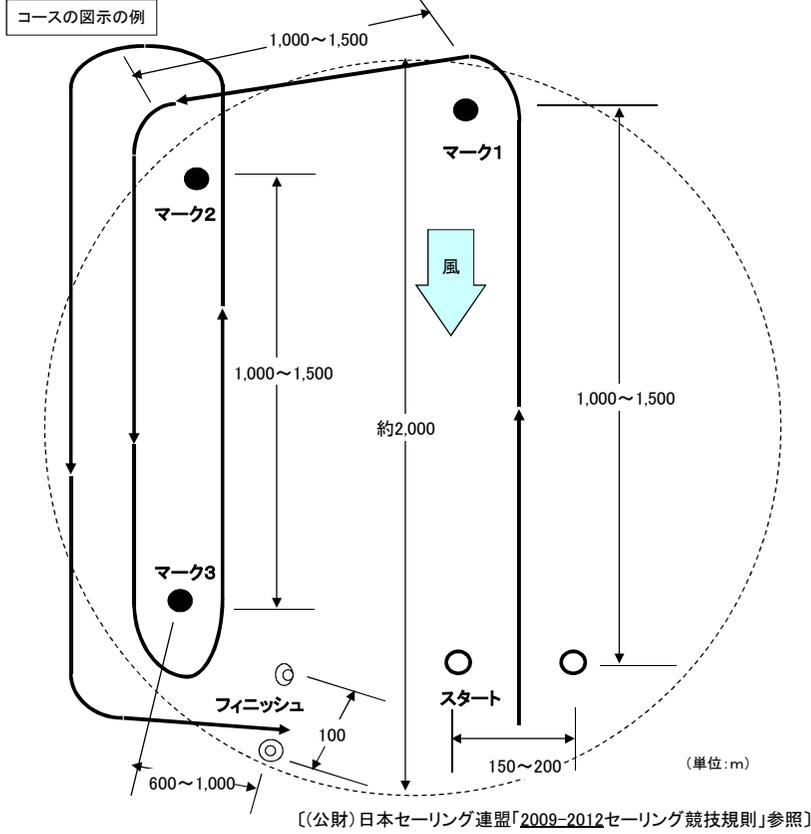
目次	(ページ)
1 陸上競技	1
2 水泳	2
3 サッカー	5
4 テニス	6
5 ボート	7
6 ホッケー	8
7 ボクシング	9
8 バレーボール	10
9 体操	12
10 バスケットボール	13
11 レスリング	14
12 セーリング	15
13 ウエイトリフティング	16
14 ハンドボール	17
15 自転車	18
16 ソフトテニス	19
17 卓球	20
18 軟式野球	21
19 相撲	22
20 馬術	23
21 フェンシング	24
22 柔道	25
23 ソフトボール	26
24 バドミントン	27
25 弓道	28
26 ライフル射撃	29
27 剣道	31
28 ラグビーフットボール	32
29 スポーツクライミング	33
30 カヌー	35
31 アーチェリー	37
32 空手道	38
33 銃剣道	39
34 なぎなた	40
35 ボウリング	41
36 ゴルフ	42
37 トライアスロン	43
38 高等学校野球	44

(改正後)

目次	(ページ)
1 陸上競技	1
2 水泳	2
3 サッカー	5
4 テニス	6
5 ボート	7
6 ホッケー	8
7 ボクシング	9
8 バレーボール	10
9 体操	12
10 バスケットボール	13
11 レスリング	14
12 セーリング	15
13 ウエイトリフティング	16
14 ハンドボール	17
15 自転車	18
16 ソフトテニス	19
17 卓球	20
18 軟式野球	21
19 相撲	22
20 馬術	23
21 フェンシング	24
22 柔道	25
23 ソフトボール	26
24 バドミントン	27
25 弓道	28
26 ライフル射撃	29
27 剣道	31
28 ラグビーフットボール	32
29 スポーツクライミング	33
30 カヌー	35
31 アーチェリー	37
32 空手道	38
33 銃剣道	39
34 なぎなた	40
35 ボウリング	41
36 ゴルフ	42
37 トライアスロン	43
38 高等学校野球	44

競技名	セーリング	(改正前)	競技番号	12
基準	(公財)日本セーリング連盟が適当と認める水域 1 (2海面) ヨットハーバー、艇庫及び競技運営棟 (仮設でもよい)		摘要	

基準の主な内容



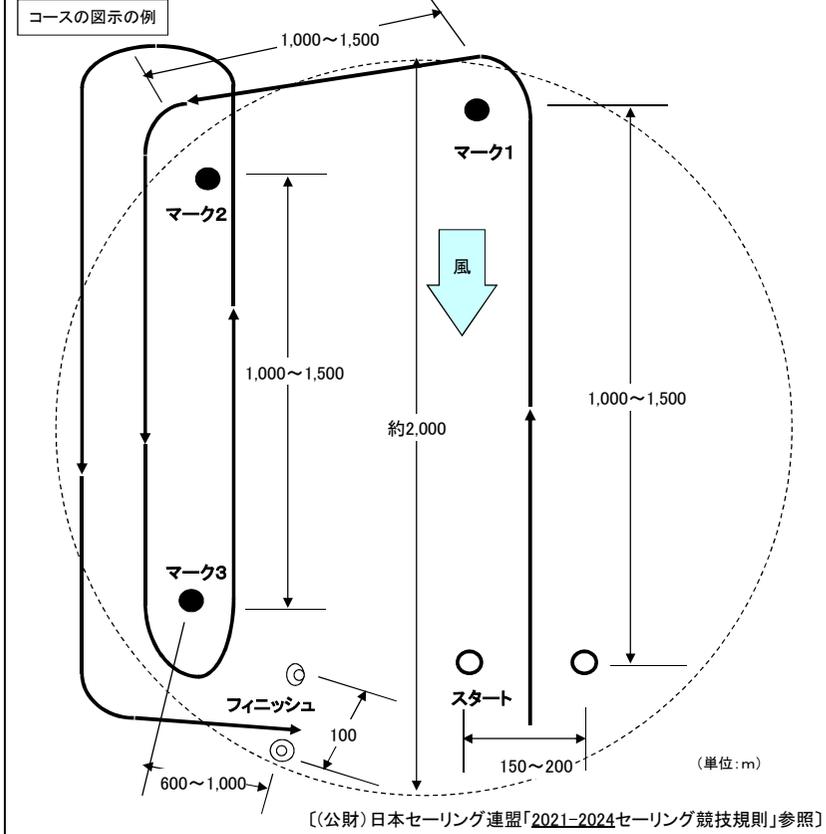
(配慮すべき事項)

- 水域(競技海面)は、ハーバーの近くにあることが望ましい。
- 競技海面の外周2kmに陸、島、河川がないことが望ましい。
- ウインドサーフィン用はヨットハーバー内に人工芝を張るか、砂浜が隣接していることが望ましい。
- 直径1.5km程度の競技海面が2つ取れること。
- 定期航路と競技海面が重複しないこと。
- 艇置き場として7,000㎡(350艇分)の広さが近接した場所を含め、確保できることが望ましい。

(先催県の事例)

競技名	セーリング	(改正後)	競技番号	12
基準	(公財)日本セーリング連盟が適当と認める水域 1 (2海面) ヨットハーバー、艇庫及び競技運営棟 (仮設でもよい)		摘要	

基準の主な内容



(配慮すべき事項)

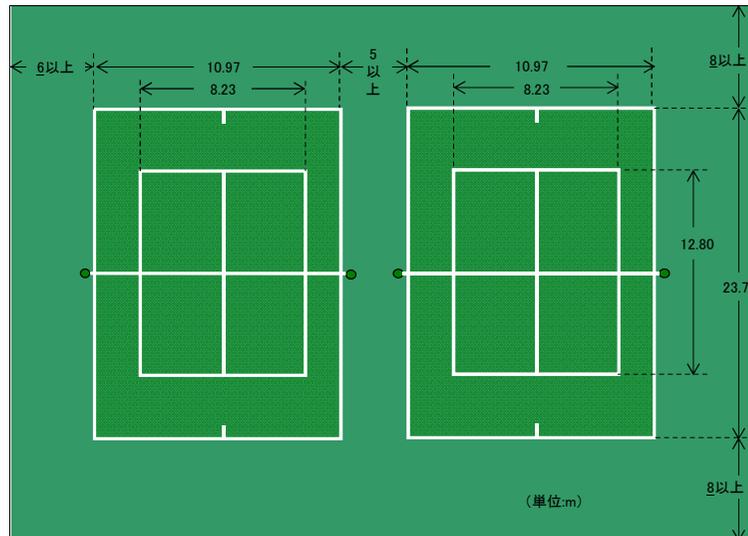
- 水域(競技海面)は、ハーバーの近くにあることが望ましい。
- 競技海面の外周2kmに陸、島、河川がないことが望ましい。
- ウインドサーフィン用はヨットハーバー内に人工芝を張るか、砂浜が隣接していることが望ましい。
- 直径1.5km程度の競技海面が2つ取れること。
- 定期航路と競技海面が重複しないこと。
- 艇置き場として7,000㎡(350艇分)の広さが近接した場所を含め、確保できることが望ましい。

(先催県の事例)

競技名	ソフトテニス	(改正前)	競技番号	16
基準	規定のコート16面	摘要	2会場地に分かれてもよい。	

基準の主な内容

コートは、次のとおりとする。



○アウトコートはコート周囲のスペースで、ベースラインから後方に8m以上、サイドラインから外側に6m以上であることを原則とする。

○コートが2面以上ならば場合、隣接するコートにおいて接するサイドラインの間隔は5m以上であることを原則とする。

○コート及びアウトコートのサーフェイスは、アウトドアではクレー、砂入り人工芝又は全天候型ケミカル等とし、インドアでは木板、人工クレー、砂入り人工芝、硬質ラバー、ケミカル等とする。

〔(公財)日本ソフトテニス連盟「競技規則」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

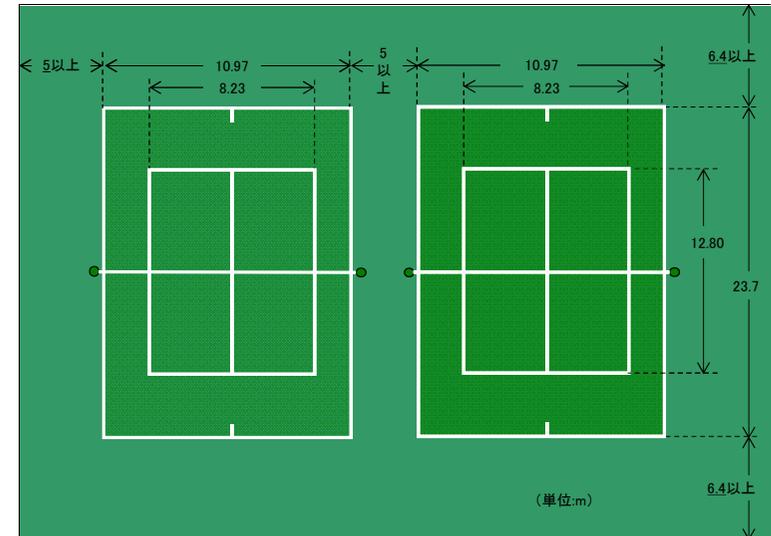
- 2会場地に分かれる場合は、競技運営上、1会場地で8面以上確保できる。
- ナイター照明があることが望ましい。

(先催県の事例)

競技名	ソフトテニス	(改正後)	競技番号	16
基準	規定のコート16面	摘要	2会場地に分かれてもよい。	

基準の主な内容

コートは、次のとおりとする。



○アウトコートはコート周囲のスペースで、ベースラインから後方に6.4m以上、サイドラインから外側に5m以上であることを原則とする。

○コートが2面以上ならば場合、隣接するコートにおいて接するサイドラインの間隔は5m以上であることを原則とする。

○コート及びアウトコートのサーフェイスは、アウトドアではクレー、人工クレー、砂入り人工芝又は全天候型等とし、インドアでは木板、人工クレー、砂入り人工芝、硬質ラバー又は全天候型等とする。

○テニスコートにおける照度は、コート面から1mの高さで原則500ルクス以上とする。

〔(公財)日本ソフトテニス連盟「競技規則」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

- 2会場地に分かれる場合は、競技運営上、1会場地で8面以上確保できる。
- ナイター照明があることが望ましい。

(先催県の事例)

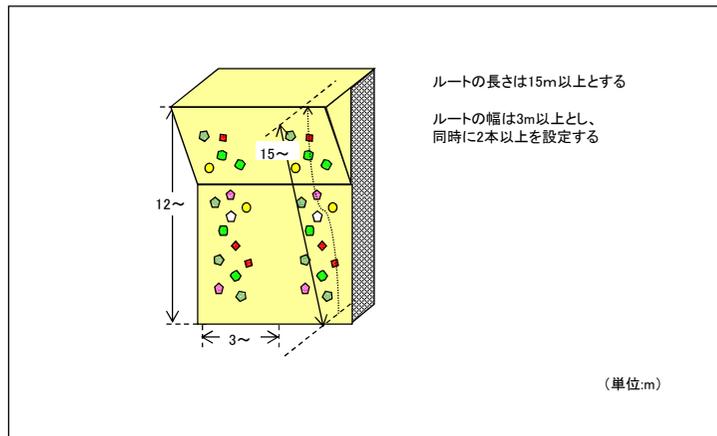
競技名	スポーツクライミング (その1)	(改正前)	競技番号	29
基準	(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会が適当と認めるリード施設およびボルダリング施設	摘要	高さ12m以上、ルート長さ15m以上の幅3m以上のルートを同時に2本以上設定できるリード施設 高さ5m、面積60㎡のボルダリング施設2基 1会場で実施	

基準の主な内容

競技場は、基本的には次のとおりとする。

1 リード競技

- (1) ウォールは以下の仕様による。
  - ① ウォールは、ルートの長さで15m以上が設定できるもの、高さは12m以上を必要とする。
  - ② ルートの幅は、3m以上とする。
  - ③ ルートは、同時に2本以上設定可能な近似形態とする。
  - ④ ウォールの設置場所が室外の場合は、雨天対策を施すものとする。
  - ⑤ ウォールの構造上あるいは立地上、オンサイト方式に抵触する可能性がある場合、ルート・セッターが設定したルートを隠すことができるカーテン等の装置を施すものとする。
  - ⑥ ウォールの設置場所が室内の場合は、空調設置等で温度変化が少なくなるように留意する。
- (2) アイソレーション・ゾーンは、以下の仕様による。
  - ① 原則として当日競技をする選手・監督を収容するスペースを有しなければならない。また、できるだけウォールに隣接して設置されることが望ましい。
  - ② ウォームアップ用のウォール(原則として高さ3m、幅5m以上)を2面以上設けなければならない。
- (3) ウォールに隣接して、ルートが見えない場所にコール・ゾーン(原則として競技者8名以上を収容できる場所)を設置しなければならない。また、競技者をアイソレーション・ゾーンから輸送するのに時間がかかる場合は、簡便なウォームアップ用ウォールを用意しなければならない。
- (4) 審判席は、ルートを見渡せる正面及び側面の位置に設置しなければならない。
- (5) 審判用器具としてビデオカメラ、モニターテレビ、ストップウォッチ及び観客・選手用大型時計(モニター)を設置する。
- (6) その他のウォール及び審判に係る施設、器具の詳細は、国体山岳競技運営の手引きによる。



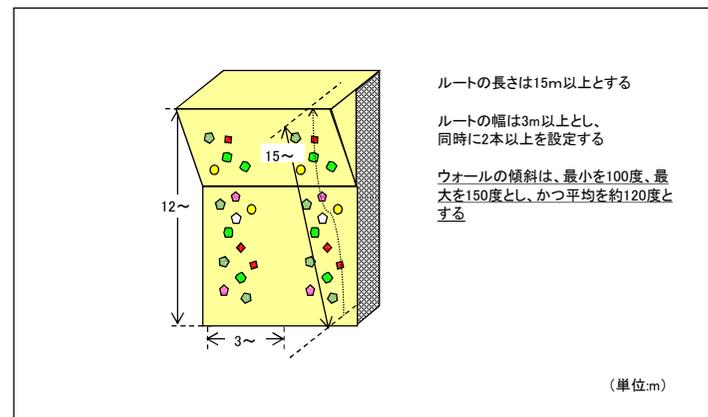
競技名	スポーツクライミング (その1)	(改正後)	競技番号	29
基準	(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会が適当と認めるリード施設およびボルダリング施設	摘要	高さ12m以上、ルート長さ15m以上の幅3m以上のルートを同時に2本以上設定できるリード施設 高さ5m、面積60㎡のボルダリング施設2基 1会場で実施	

基準の主な内容

競技場は、基本的には次のとおりとする。

1 リード競技

- (1) ウォールは以下の仕様による。
  - ① ウォールは、ルートの長さで15m以上が設定できるもの、高さは12m以上を必要とする。
  - ② ルートの幅は、3m以上とする。
  - ③ ルートは、同時に2本以上設定可能な近似形態とする。
  - ④ ウォールの傾斜は、最小を100度、最大を150度とし、かつ平均を約120度とする。
  - ⑤ ウォールの設置場所が室外の場合は、雨天対策を施すものとし、北(または北東)向きでの設置が望ましい。
  - ⑥ ウォールの構造上あるいは立地上、オンサイト方式に抵触する可能性がある場合、ルート・セッターが設定したルートを隠すことができるカーテン等の装置を施すものとする。
  - ⑦ ウォールの設置場所が室内の場合は、空調設置等で温度変化が少なくなるように留意する。
- (2) アイソレーション・ゾーンは、以下の仕様による。
  - ① 原則として当日競技をする選手・監督を収容するスペースを有しなければならない。また、できるだけウォールに隣接して設置されることが望ましい。
  - ② ウォームアップ用のウォール(原則として高さ3m、幅5m以上)を2面以上設けなければならない。
- (3) ウォールに隣接して、ルートが見えない場所にコール・ゾーン(原則として競技者8名以上を収容できる場所)を設置しなければならない。また、競技者をアイソレーション・ゾーンから輸送するのに時間がかかる場合は、簡便なウォームアップ用ウォールを用意しなければならない。
- (4) 審判席は、ルートを見渡せる正面及び側面の位置に設置しなければならない。
- (5) 審判用器具としてビデオカメラ、モニターテレビ、ストップウォッチ及び観客・選手用大型時計(モニター)を設置する。
- (6) その他のウォール及び審判に係る施設、器具の詳細は、国体山岳競技運営の手引きによる。

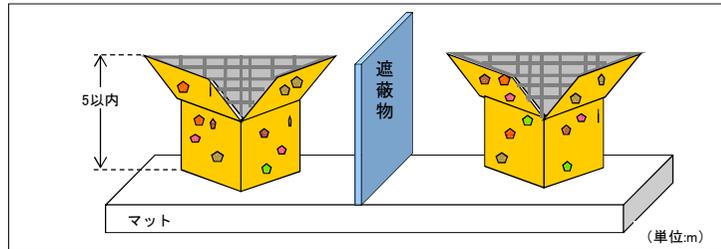


競技名	スポーツクライミング (その2)	(改正前)	競技番号	29
基準	(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会が適当と認めるリード施設およびボルダリング施設	摘要	高さ12m以上、ルート長さ15m以上の幅3m以上のルートを同時に2本以上設定できるリード施設高さ5m、面積60㎡のボルダリング施設2基1会場で実施	

基準の主な内容

2 ボルダリング競技

- (1) ウォールは、以下の仕様による。
  - ① ウォールの高さは、マット面から5m以内とする。
  - ② ウォール数は、1基に2ルート以上とれる仕様のもので合計2基とする。
  - ③ ウォールの壁面積は、1基あたり60㎡とする。
  - ④ 観客席から見やすいようにウォールは壇上に設置されなければならない。
  - ⑤ ウォール2基は、お互いのルート(プロブレム)が見えないように遮蔽などの対策を施すこと。
  - ⑥ ウォールの傾斜は、90度以上とする。
  - ⑦ ウォールのパネルは、交換できなくてもよいが、立体的な構造が望ましい。
  - ⑧ ウォール2基の間には、選手の休憩場所を設置し、休憩場所から競技が見えないようにすること。
  - ⑨ ウォールの設置場所が室外の場合は、雨天対策を施すものとする。
  - ⑩ 必要に応じて、ルート・セッターが設定したルートを隠すことができるカーテン等の装置を施すものとする。
- ⑪ 安全対策のため、ウォールの下には壁上部から選手が墜落した場合にも十分な安全が確保できるようなマットを設置するものとする。
- ⑫ ウォールの設置場所が室内の場合は、空調設置等で温度変化が少なくなるように留意する。
- (2) アイソレーション・ゾーンは、以下の仕様による。
  - ① アイソレーション・ゾーンは、原則として当日競技をする選手・監督を収容するスペースを有しなければならない。また、できるだけウォールに隣接して設置されることが望ましい。
  - ② アイソレーション・ゾーンには、ウォームアップ用のウォール(原則として高さ3m、幅5m以上)を2面以上設けなければならない。
- (3) ウォールに隣接して、ルートが見えない場所にコール・ゾーン(原則として競技者8名以上を収容できる場所)を設置しなければならない。また、競技者をアイソレーション・ゾーンから輸送するのに時間がかかる場合は、簡便なウォームアップ用ウォールを用意しなければならない。
- (4) 審判席は、ルートを見渡せる正面及び側面の位置に設置しなければならない。
- (5) 審判用器具としてビデオカメラ、モニターテレビ、ストップウォッチ及び観客・選手用大型時計(モニター)を設置する。
- (6) 競技時間ごとに鳴るブザーを設置する。
- (7) その他のウォール及び審判に係る施設、器具の詳細は、国体山岳競技運営の手引きによる。



〔(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会「山岳競技施設認定規則」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

- ボルダリング競技とリード競技は隣接した施設を会場とする。
- ボルダリング競技のウォール設置場所は、屋内とすることが望ましい。

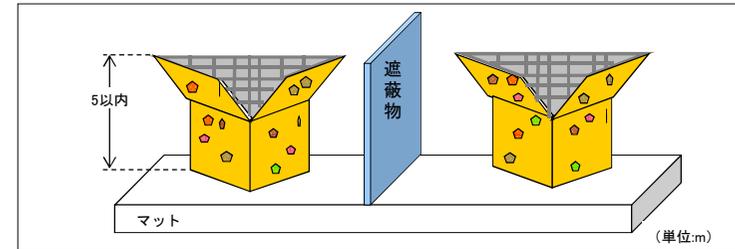
(先催県の事例)

競技名	スポーツクライミング (その2)	(改正後)	競技番号	29
基準	(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会が適当と認めるリード施設およびボルダリング施設	摘要	高さ12m以上、ルート長さ15m以上の幅3m以上のルートを同時に2本以上設定できるリード施設高さ5m、面積60㎡のボルダリング施設2基1会場で実施	

基準の主な内容

2 ボルダリング競技

- (1) ウォールは、以下の仕様による。
  - ① ウォールの高さは、マット面から5m以内とする。
  - ② ウォール数は、1基に2ルート以上とれる仕様のもので合計2基とする。
  - ③ ウォールの壁面積は、1基あたり60㎡とする。
  - ④ 観客席から見やすいようにウォールは壇上に設置されなければならない。
  - ⑤ ウォール2基は、お互いのルート(プロブレム)が見えないように遮蔽などの対策を施すこと。
  - ⑥ ウォールの傾斜は、最小を85度、最大を150度とし、かつ平均を約120度とする。
  - ⑦ ウォールのパネルは、交換できなくてもよいが、立体的な構造が望ましい。
  - ⑧ ウォール2基の間には、選手の休憩場所を設置し、休憩場所から競技が見えないようにすること。
  - ⑨ ウォールの設置場所が室外の場合は、雨天対策を施すものとし、北向きでの設置が望ましい。
  - ⑩ 必要に応じて、ルート・セッターが設定したルートを隠すことができるカーテン等の装置を施すものとする。
  - ⑪ 安全対策のため、ウォールの下には壁上部から選手が墜落した場合にも十分な安全が確保できるようなマットを設置するものとする。
  - ⑫ ウォールの設置場所が室内の場合は、空調設置等で温度変化が少なくなるように留意する。
- (2) アイソレーション・ゾーンは、以下の仕様による。
  - ① アイソレーション・ゾーンは、原則として当日競技をする選手・監督を収容するスペースを有しなければならない。また、できるだけウォールに隣接して設置されることが望ましい。
  - ② アイソレーション・ゾーンには、ウォームアップ用のウォール(原則として高さ3m、幅5m以上)を2面以上設けなければならない。
- (3) ウォールに隣接して、ルートが見えない場所にコール・ゾーン(原則として競技者8名以上を収容できる場所)を設置しなければならない。また、競技者をアイソレーション・ゾーンから輸送するのに時間がかかる場合は、簡便なウォームアップ用ウォールを用意しなければならない。
- (4) 審判席は、ルートを見渡せる正面及び側面の位置に設置しなければならない。
- (5) 審判用器具としてビデオカメラ、モニターテレビ、ストップウォッチ及び観客・選手用大型時計(モニター)を設置する。
- (6) 競技時間ごとに鳴るブザーを設置する。
- (7) その他のウォール及び審判に係る施設、器具の詳細は、国体山岳競技運営の手引きによる。



〔(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会「山岳競技施設認定規則」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

- ボルダリング競技とリード競技は隣接した施設を会場とする。
- ボルダリング競技のウォール設置場所は、屋内とすることが望ましい。

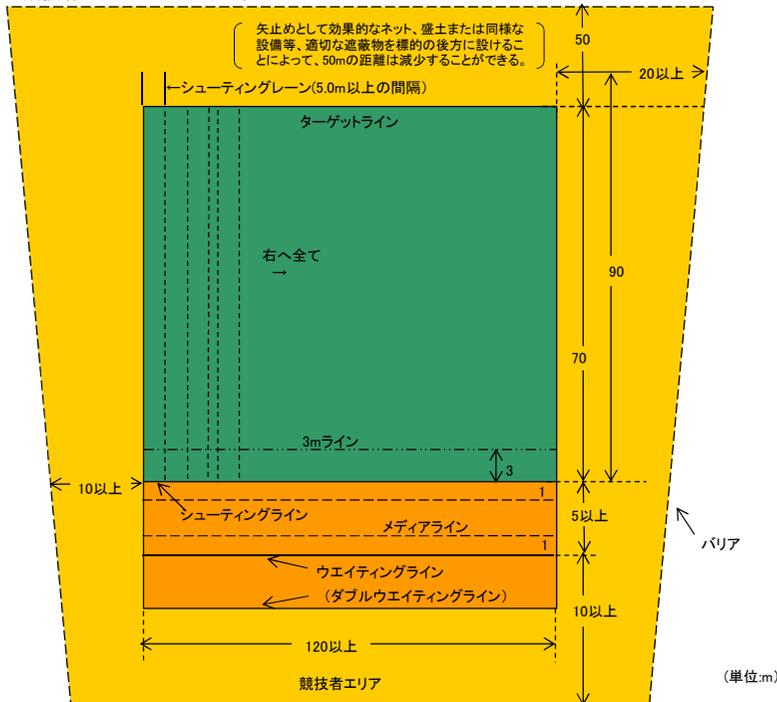
(先催県の事例)

競技名	アーチェリー	(改正前)	競技番号	31
-----	--------	-------	------	----

基準	70mの射程距離を有する施設 1	摘要	
----	------------------	----	--

基準の主な内容

競技場は、次のとおりとする。



- ウエイティングラインは、シューティングラインの5m以上後方の位置に設ける。
  - 2名以上の競技者が同じ標的を同時に行射する場合、1競技者について最低80cmの間隔が確保されなければならない。車椅子競技者の参加がある場合さらに広い間隔を必要とする。
  - メディアラインはウエイティングラインの前方1mに設置する。
  - 団体戦ではシューティングラインの手前1mに明瞭なラインを設置する。
  - 観客の安全のため、競技場の周囲に適当なバリアを設けて、観客が競技場内に立ち入らないようにする。このバリアは、90mターゲットラインの端から20m離れた位置から、シューティングラインの端から10m離れた位置まで幅を減少させて直線で結んでもよい。
  - また、このバリアはウエイティングラインから後方に少なくとも10m以上の位置とし、標的の後方の人の動き等によって競技者の集中力を阻害することがないように注意する必要がある。
  - 遮蔽物は、標的の上を外れた矢を止めるのに十分な高さでなければならない。
- 〔(公社)全日本アーチェリー連盟「競技規則」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

- 競技場は水平に均されたフィールドで、方位は標的面が南向きになるように標的を北側に設置することを原則とする。
- オリンピックラウンドおよびコンパウンドマッチラウンドでは、イリミネーションラウンドおよびファイナルラウンドの間、競技が進行している間に競技者が練習できるように、競技会場の近くに練習会場を併設する。

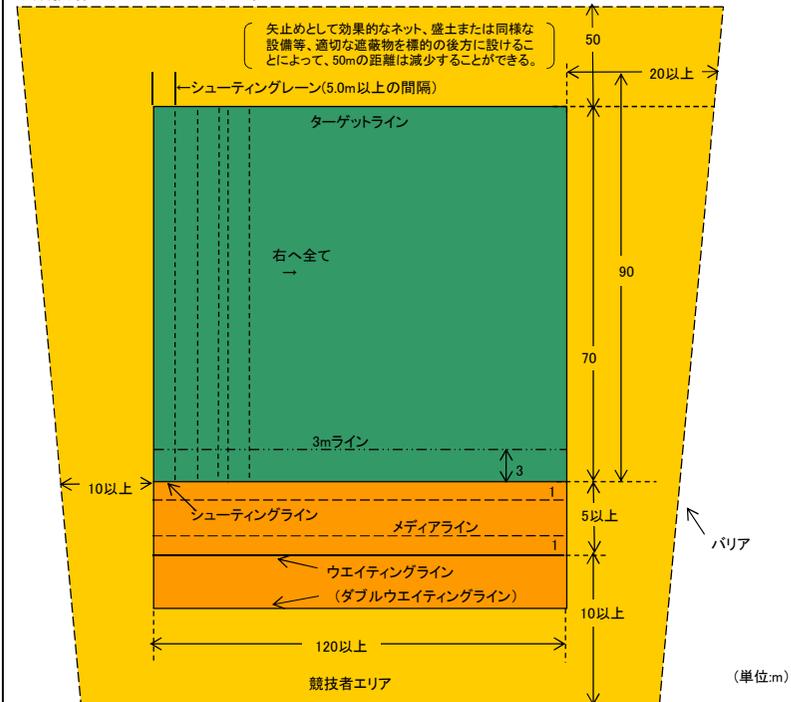
(先催県の事例)

競技名	アーチェリー	(改正後)	競技番号	31
-----	--------	-------	------	----

基準	70mの射程距離を有する施設 1	摘要	
----	------------------	----	--

基準の主な内容

競技場は、次のとおりとする。



- ウエイティングラインは、シューティングラインの5m以上後方の位置に設ける。
  - 2名以上の競技者が同じ標的を同時に行射する場合、1競技者について最低90cmの間隔が確保されなければならない。車椅子競技者の参加がある場合さらに広い間隔を必要とする。
  - メディアラインはウエイティングラインの前方1mに設置する。
  - 団体戦ではシューティングラインの手前1mに明瞭なラインを設置する。
  - 観客の安全のため、競技場の周囲に適当なバリアを設けて、観客が競技場内に立ち入らないようにする。このバリアは、90mターゲットラインの端から20m離れた位置から、シューティングラインの端から10m離れた位置まで幅を減少させて直線で結んでもよい。
  - また、このバリアはウエイティングラインから後方に少なくとも10m以上の位置とし、標的の後方の人の動き等によって競技者の集中力を阻害することがないように注意する必要がある。
  - 遮蔽物は、標的の上を外れた矢を止めるのに十分な高さでなければならない。
- 〔(公社)全日本アーチェリー連盟「競技規則」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

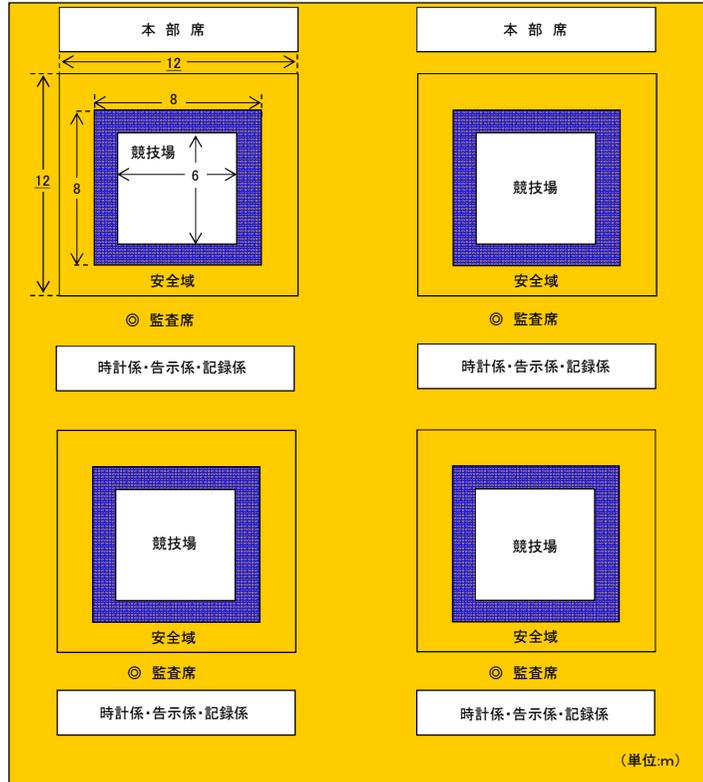
- 競技場は水平に均されたフィールドで、方位は標的面が南向きになるように標的を北側に設置することを原則とする。
- オリンピックラウンドおよびコンパウンドマッチラウンドでは、イリミネーションラウンドおよびファイナルラウンドの間、競技が進行している間に競技者が練習できるように、競技会場の近くに練習会場を併設する。

(先催県の事例)

競技名	空手道	(改正前)	競技番号	32
基準	規定の競技場4面を有する空手道場 又は体育館 1	摘要		

基準の主な内容

競技場は、次のとおりとする。



- 競技場安全域外側周辺1m以内には、広告板、壁、柱等があってはならない。
- 使用するマットは、全空連承認のものであること。

〔(公財)全日本空手道連盟「空手競技規定」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

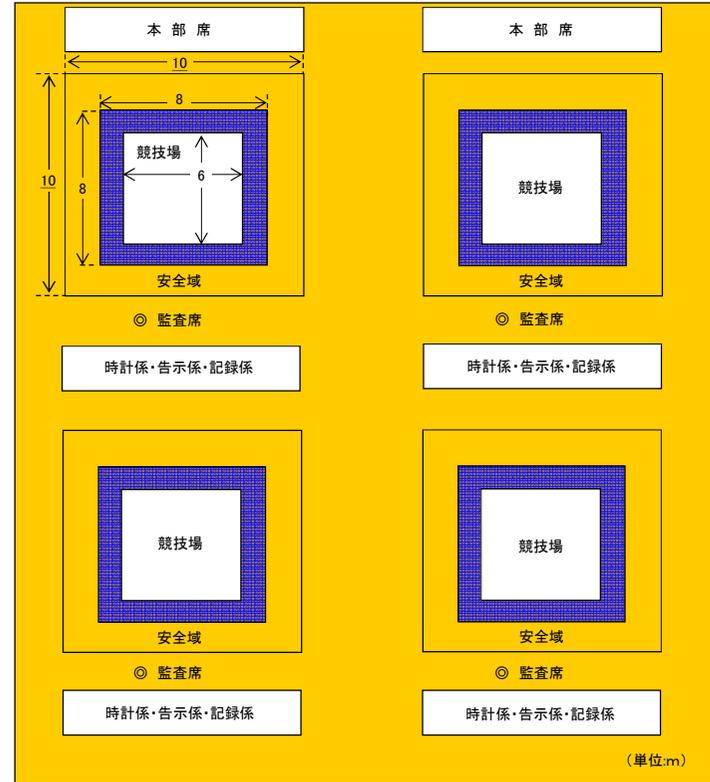
- 競技会場である空手道場又は体育館の窓には、直射日光を遮断する設備があることが望ましい。
- 8m四方の競技場の外側に各2m幅の安全域を設ける。マットは1コート12m四方とする。

(先催県の事例)

競技名	空手道	(改正後)	競技番号	32
基準	規定の競技場4面を有する空手道場 又は体育館 1	摘要		

基準の主な内容

競技場は、次のとおりとする。



- 競技場安全域外側周辺1m以内には、広告板、壁、柱等があってはならない。
- 使用するマットは、全空連承認のものであること。

〔(公財)全日本空手道連盟「空手競技規定」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

- 競技会場である空手道場又は体育館の窓には、直射日光を遮断する設備があることが望ましい。
- 8m四方の競技場の外側に各2m幅の安全領域を設ける。マットは1コート10m四方とする。

(先催県の事例)

# 審 議 事 項

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 会期（案）

1 趣旨等

- 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会について、令和 7 年（2025 年）へ延期となったため、改めて会期案（開会式から閉会式までの日程案）を決定する必要がある。

2 本県における両大会の会期案

- 国スポについては 3 案を日本スポーツ協会に提示する必要がある。
- 障スポについては 2 案を文部科学省および日本障がい者スポーツ協会に提示する必要がある。

<第 79 回国民スポーツ大会の会期案>

- 皇室行事、関係団体・市町の意見等を考慮して設定。

希望順位	日程
1	令和 7 年 9 月 27 日（土）～10 月 7 日（火）
2	令和 7 年 9 月 28 日（日）～10 月 8 日（水）
3	令和 7 年 10 月 4 日（土）～10 月 14 日（火）

<第 24 回全国障害者スポーツ大会の会期案>

- 皇室行事、大阪・関西万博の影響（閉会日 10 月 13 日）、国スポとの間隔、会期中の気候、関係団体・市町の意見等を考慮して設定。

希望順位	日程
1	令和 7 年 10 月 25 日（土）～10 月 27 日（月）
2	令和 7 年 11 月 8 日（土）～11 月 10 日（月）

3 今後の予定

- 令和 3 年 8 月 **開催準備委員会 常任委員会での決定**  
 →国スポ会期 3 案を日スポ協に提出  
 →障スポ会期 2 案を日障協に説明（正式提出は国スポ会期決定後）
- 秋頃 日スポ協が国スポ会期について宮内庁と協議
- 令和 4 年 6 月頃 国スポ会期が内定（日本スポーツ協会国民体育大会委員会）  
 障スポ会期 2 案を日障協・文部科学省に提出  
 文部科学省が障スポ会期について宮内庁と協議
- 7 月頃 **国スポ会期が決定（日本スポーツ協会理事会）**  
**障スポ会期が決定（日障協・文部科学省）**

第79回国民スポーツ大会 正式競技 会場地市町第八次内定(案)

番号	競技名(種目)		種別	市町名		開催予定施設
				所在地	準備運営	
1	自転車	トラック・レース	全種別	京都府向日市	滋賀県	向日町競輪場
2		ロード・レース	全種別	東近江市		東近江市特設ロードレースコース

(注)開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果により、会場の追加変更等が生じる場合がある。

第79回国民スポーツ大会 正式競技 開催予定施設変更（案）

	競技名 (種目)	種別	市町名	開催予定施設名	
				(変更前)	(変更後)
1	バレーボール (ビーチバレー ボール)	全種別	長浜市	長浜市南浜町地先特設会場	豊公園自由広場特設会場

(理由) 仮設コートや観客席の配置等において、十分な面積を確保できるため。

## 第79回国民スポーツ大会 正式競技 競技会場地の内定状況

○内定済み(第一次～第七次) … 37競技(正式競技36、特別競技1)

○内定(第八次内定) … 1競技(自転車(トラック・レース、ロード・レース))

○変更手続き … 1競技(バレーボール(ビーチバレーボール))

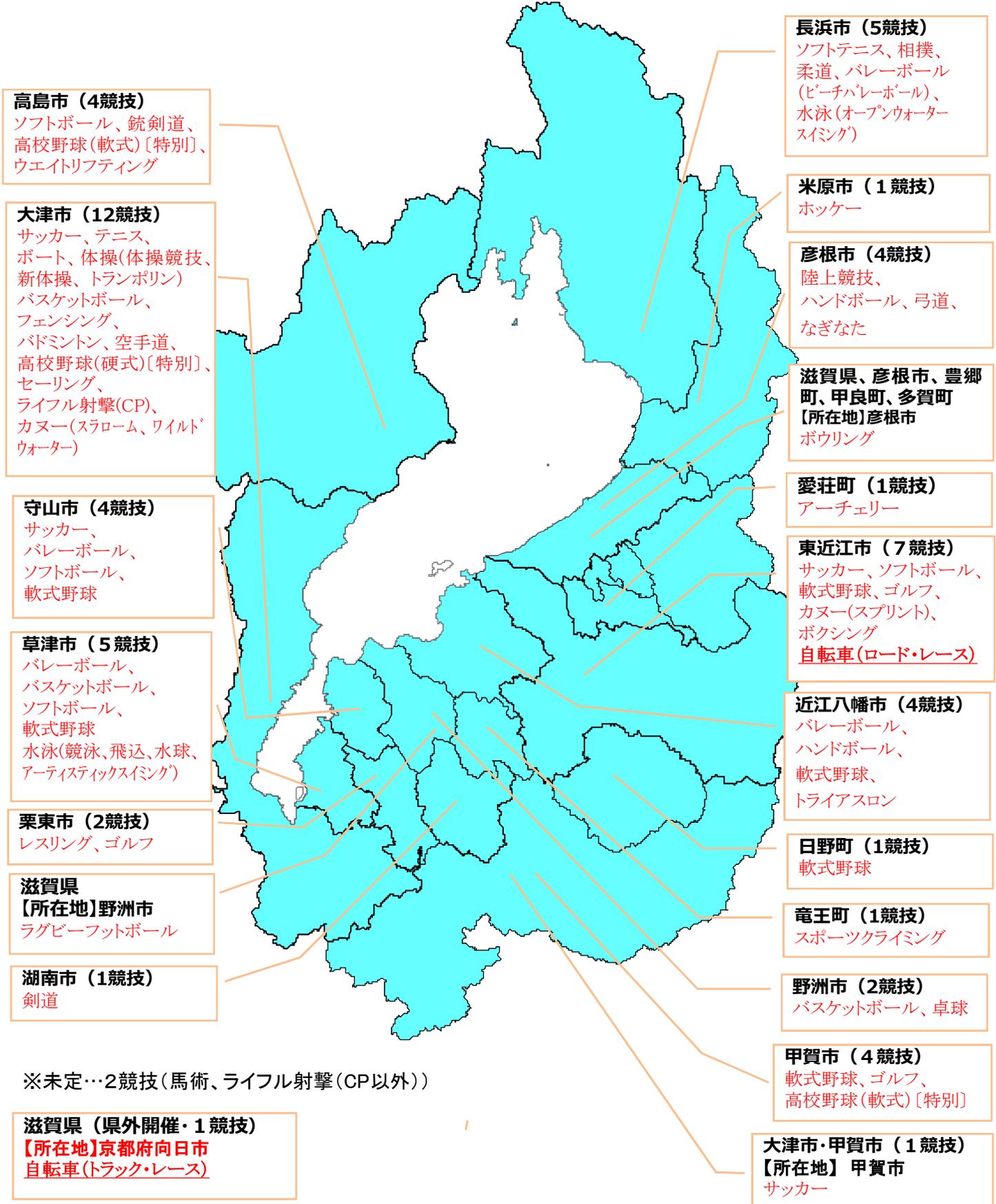
No	競技名		第79回国スポ 会場地				
			内定時期	市町名		施設名	種別
				所在地	準備運営		
	開・閉会式		H26.5.26	彦根市		(仮称)金亀公園陸上競技場	
1	陸上競技		H26.5.26	彦根市		(仮称)金亀公園陸上競技場	全種別
2	水泳	競泳	⑦R3.3.22	草津市		(仮称)草津市立プール	全種別
		飛込					
		水球					
		アーティスティックスイミング					
		オープンウォータースイミング	⑤R元.5.17	長浜市		長浜市南浜町地先特設会場	全種別
3	サッカー		②H28.8.3 ⑦R3.3.22変更	東近江市		東近江市総合運動公園布引陸上競技場 京セラ株式会社滋賀八日市工場総合グラウンド	成年男子
				大津市		皇子山総合運動公園陸上競技場 伊香立公園芝生グラウンド	少年女子
				甲賀市	大津市 甲賀市	甲賀市水口スポーツの森陸上競技場	少年女子
				守山市		野洲川歴史公園サッカー場(ビッグレイク)	少年男子
4	テニス		②H28.8.3	大津市		大石緑地スポーツ村テニスコート	全種別
5	ボート		②H28.8.3	大津市		関西みらいローイングセンター(滋賀県琵琶湖漕艇場)	全種別
6	ホッケー		③H29.7.31	米原市		OSPホッケースタジアム(滋賀県立伊吹運動場) 米原市伊吹第1グラウンド	全種別
7	ボクシング		④H30.5.21	東近江市		東近江市能登川アリーナ	全種別
8	バレーボール	6人制	②H28.8.3	草津市		草津市立総合体育館 YMITアリーナ(くさつシティアリーナ)	成年男子 成年女子
				近江八幡市		近江八幡市立運動公園体育館	少年男子
				守山市		守山市民体育館	少年女子
		ビーチバレーボール	⑤R元.5.17 ⑧R3.8.3変更予定	長浜市		豊公園自由広場特設会場	少年男子 少年女子

No	競技名		第79回国スポ 会場地				
			内定時期	市町名		施設名	種別
				所在地	準備運営		
9	体操	競技	②H28.8.3	大津市		滋賀アリーナ	全種別
		新体操	②H28.8.3	大津市		滋賀アリーナ	少年女子 少年男子
		トランポリン	⑥R2.6.1	大津市		滋賀アリーナ	全種別
10	バスケットボール		②H28.8.3	大津市		滋賀アリーナ	成年男子 少年男子
				野洲市		野洲市総合体育館	成年女子
				草津市		YMITアリーナ(くさつシティアリーナ)	少年女子
11	レスリング		②H28.8.3	栗東市		栗東市民体育館	全種別
12	セーリング		④H30.5.21	大津市		大津市柳が崎特設セーリング会場	全種別
13	ウエイトリフティング		④H30.5.21	高島市		県立安曇川高等学校体育館	全種別
14	ハンドボール		③H29.7.31 ④R元.5.17変更	彦根市		彦根市スポーツ・文化交流センター 彦総グリーンアリーナ(彦根総合高等学校体育館)	成年男子 成年女子 少年女子
				近江八幡市		近江八幡市立運動公園体育館 あづちマリエート	少年男子 少年女子
15	自転車	トラック・レース	⑧R3.8.3予定	京都府向日市	滋賀県	向日町競輪場	全種別
		ロード・レース	⑧R3.8.3予定	東近江市		東近江市特設ロードレースコース	全種別
16	ソフトテニス		①H27.8.31	長浜市		長浜市民庭球場	全種別
17	卓球		②H28.8.3	野洲市		野洲市総合体育館	全種別
18	軟式野球		③H29.7.31	近江八幡市		近江八幡市立運動公園野球場	成年男子
				草津市		草津グリーンスタジアム	
				守山市		守山市民球場	
				甲賀市		甲賀市民スタジアム	
				東近江市		東近江市ひばり公園湖東スタジアム	
				日野町		大谷公園野球場	
19	相撲		①H27.8.31	長浜市		長浜バイオ大学ドーム(滋賀県立長浜ドーム)	全種別
20	馬術						
21	柔道		②H28.8.3	長浜市		長浜伊香ツインアリーナ	全種別
22	ソフトボール		②H28.8.3 ⑥R2.6.1変更	東近江市		東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド	成年男子
				高島市		高島市今津総合運動公園第1グラウンド・第2グラウンド	成年女子
				草津市		野村公園グラウンド	少年男子
				守山市		守山市民運動公園ソフトボール場 守山市民球場	少年女子

No	競技名		第79回国スポ 会場地				
			内定時期	市町名		施設名	種別
				所在地	準備運営		
23	フェンシング		③H29.7.31	大津市		ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)	全種別
24	バドミントン		②H28.8.3	大津市		滋賀アリーナ	全種別
25	弓道		③H29.7.31	彦根市		彦根市スポーツ・文化交流センター	全種別
26	ライフル 射撃	センター・ファイア・ピストル	④H30.5.21	大津市		滋賀県警察学校射撃場	全種別
		センター・ファイア・ピストル以外					
27	剣道		①H27.8.31	湖南市		湖南市総合体育館	全種別
28	スポーツクライミング	リード	③H29.7.31	竜王町		竜王町総合運動公園	全種別
		ボルダリング					
29	ラグビーフットボール		⑥R2.6.1	野洲市	滋賀県	滋賀県希望が丘文化公園	全種別
30	カヌー	スプリント	③H29.7.31	東近江市		東近江市能登川水車とカヌーランド	全種別
		スラローム ワイルドウォーター	④H30.5.21	大津市		瀬田川特設カヌー会場	全種別
31	アーチェリー		①H27.8.31	愛荘町		愛荘町スポーツセンター 秦荘グラウンド	全種別
32	空手道		②H28.8.3	大津市		ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)	全種別
33	銃剣道		③H29.7.31	高島市		新旭体育館	全種別
34	なぎなた		③H29.7.31	彦根市		パナソニック株式会社アプライアンス社彦根工場多目的ホール	全種別
35	ボウリング		⑥R2.6.1	彦根市	滋賀県彦根市豊郷町甲良町多賀町	ラピュタボウル彦根	全種別
36	ゴルフ		③H29.7.31	栗東市		琵琶湖カントリー倶楽部	成年男子
				甲賀市		ベアズパウ ジャパン カントリークラブ	少年男子
				東近江市		名神八日市カントリー倶楽部	女子
37	トライアスロン		④H30.5.21	近江八幡市		近江八幡市特設トライアスロン会場	全種別
38	高等学校野球	硬式	①H27.8.31	大津市		皇子山総合運動公園野球場	—
		軟式	③H29.7.31	甲賀市		甲賀市民スタジアム	—
				高島市		高島市今津総合運動公園今津スタジアム	

注) 1 開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

# 第79回国民スポーツ大会正式競技 開催予定施設配置図



第 79 回国民スポーツ大会 競技施設整備計画【第 3 次】(案)

1 趣旨

第 79 回国民スポーツ大会の競技施設の整備を計画的かつ円滑に推進するため、第 79 回国民スポーツ大会会場地市町選定基準および同大会競技施設基準、中央競技団体正規視察の結果を踏まえ、会場地市町との協議を基に、全体的な整備計画を策定するもの。

なお、本整備計画は、現時点における予定であり、今後の状況に応じて見直すものとする。

2 施設整備区分一覧(令和 3 年 2 月現在)

整備区分 整備主体		新設	改修	仮設	既設	検討中	計
		県	2	4	0	2	1
県内	市町	5(4)	23(24)	9(8)	5(3)	3	45(42)
	民間	0	0	0	7(6)	0(2)	7(8)
	小計	7(6)	27(28)	9(8)	14(11)	4(6)	61(59)
	県外	0	0	0	1(0)	0	1(0)
計		7(6)	27(28)	9(8)	15(11)	4(6)	62(59)

※ ( ) は【第 2 次】の施設数(変動がないものは省略。)

3 用語等の説明

(1) 整備区分は次のとおりとする。

ア 「新設」は、新たに常設の競技施設を整備するものをいう。

イ 「改修」は、既存の競技施設を改修するもの(通常の維持修繕を行うものを除く。)をいう。

ウ 「仮設」は、国スポ開催に合わせて臨時的に競技施設を整備するものをいう。

エ 「既設」は、既存の競技施設をそのまま使用するもの(通常の維持修繕を行うものを含む。)をいう。

(2) 施設の概要は、新設は整備後の数値、改修および既設は現状の数値、仮設は競技施設基準の数値を記載した。

(3) 整備年度は、設計等の期間を除き、工事期間のみを記載した。

第79回国民スポーツ大会 競技施設整備計画【第3次】（案）

会場地 市町	競技名	種目・種別	競技施設名	施設の概要					整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)							付帯施設等			
				構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数 等	照度 (ルクス)					観客席数 (固定席)	H30	R元	R2	R3	R4	R5		R6	R7	
大津市	サッカー	少年女子	皇子山総合運動公園陸上競技場	天然芝	106	70	1	250	5,000	市	改修	トイレ改修等	R4-R5									本部室、放送室、事務室、医務室、記録員室、更衣室、シャワー室、倉庫	
			伊香立公園芝生グラウンド	天然芝	105	68	1	-	-	市	検討中	検討中	検討中									シャワー室	
	テニス	全種別	大石緑地スポーツ村テニスコート	砂入り人工芝コート24面			-	-	市	改修	人工芝の張替等	R3-R5			⇒	⇒	⇒				更衣室、シャワー室、会議室		
	ボート	全種別	関西みらいローイングセンター (滋賀県立琵琶湖漕艇場)	コース長1,000m、6レーン			-	-	県	改修	コース改修 管理棟・艇庫の改築	R元-R3	⇒	⇒	⇒						会議室兼宿泊室、トレーニング室、更衣室、浴室		
	体操	体操競技 全種別	滋賀アリーナ	RC造 一部S造	69 以上	40 以上	1	1,500 以上	2,500 以上	県	新設	アリーナの新設	R3-R4								⇒	⇒	サブアリーナ、トレーニング室、会議室、スポーツ・体力測定室
		新体操 全種別																					
		トランポリン 全種別																					
	バスケットボール	成年男子 少年男子				4																	
	バドミントン	全種別				8																	
	セーリング	全種別	大津市柳が崎特設セーリング会場	2海面			-	-	市	仮設	コース設営等	検討中											
	フェンシング	全種別	ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)	RC造 一部S造	45	42	8	1,200 ~	1,905	県	既設	-	-									小競技場、会議室、更衣室	
	空手道	全種別				4		2,300															
	ライフル射撃	CP 全種別	滋賀県警察学校射撃場	RC造	38	24.5	18 射座	160~ 550	-	県	検討中	検討中	検討中									指揮室、体育館	
カヌー	スラローム ワイルドウォーター 全種別	瀬田川特設カヌー会場	コース長1,500m			-	-	市	仮設	コース設営等	検討中												
高等学校野球	硬式	皇子山総合運動公園野球場	土 天然芝	中堅 122	両翼 100	1	881~ 1,500	15,000	市	改修	スコアボード改修 等	R3								⇒	本部室、放送室、事務室、シャワー室、審判員室、更衣室、室内練習場、救護室		

第79回国民スポーツ大会 競技施設整備計画【第3次】（案）

会場地 市町	競技名	種目・種別	競技施設名	施設の概要						整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)							付帯施設等	
				構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数 等	照度 (ルクス)	観客席数 (固定席)					H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6		R7
彦根市	陸上競技	全種別	(仮称)金亀公園陸上競技場	日本陸連第1種公認陸上競技場 400mトラック、9レーン						1,000	7,000	県	新設	陸上競技場の新設	R元-R4	⇒	⇒	⇒	⇒			補助競技場、更衣室、シャワー室、医務室、放送室、指令室等
	ハンドボール	成年男子 成年女子 少年女子	彦総グリーンアリーナ (彦根総合高等学校体育館)	RC造	27.3	45.4	1	870~ 1,300	-	民間	既設	-	-									
			彦根市スポーツ・文化交流センター	RC造	45	57	2	1,000~ 1,500	1,576	市	新設	体育館の新設	R元-R4	⇒	⇒	⇒	⇒			サブアリーナ、会議室、更衣室等		
	弓道	全種別		S造	近的 遠的	10人立ち×1 3人立ち×2		500 以上	-	市	新設	弓道場の新設	R元-R4	⇒	⇒	⇒	⇒					
	なぎなた	全種別	パナソニック株式会社アプライアンス社彦根工場多目的ホール	RC造	45	34.5	2	1,000	-	民間	既設	-	-							会議室、更衣室、和室		
長浜市	水泳	オープンウォーター スイミング 全種別	長浜市南浜町地先特設会場	オープンウォータースイム5.0km						-	市	仮設	コース整備	検討中								
	バレーボール	ビーチバレー ボール 全種別	長浜市豊公園自由広場特設会場	ビーチバレーボールコート5面						-	市	仮設	ビーチバレーボールコート整備	検討中								
	ソフトテニス	全種別	長浜市民庭球場	砂入り人工芝コート16面						528	4,000	市	検討中	検討中	検討中						クラブハウス (放送設備、会議室等)、日除け	
	相撲	全種別	長浜バイオ大学ドーム (滋賀県立長浜ドーム)	RC造	74	120	1	800~ 900	1,762	県	改修	人工芝の張替	R元	⇒						練習室、会議室、更衣室、シャワー室、トレーニング室		
	柔道	全種別	長浜伊香ツインアリーナ	RC造 一部S造	42	30	3	750	907	市	改修	新アリーナの増築	H30-R元	⇒	⇒					事務室、授乳室、医務室、トレーニング室、多目的室兼会議室、更衣・シャワー室等		

第79回国民スポーツ大会 競技施設整備計画【第3次】(案)

会場地 市町	競技名	種目・種別	競技施設名	施設の概要					整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)							付帯施設等		
				構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数 等	照度 (ルクス)					観客席数 (固定席)	H30	R元	R2	R3	R4	R5		R6	R7
近江八幡市	バレーボール	少年男子	近江八幡市立運動公園体育館	RC造	42	36	2 1	1,600	532	市	改修	床改修、遮光対策、照明改修	R2-R3		⇒	⇒					会議室、更衣室、シャワー室、放送室	
	ハンドボール	少年男子 少年女子	あづちマリエート	RC造	46	36	1	1,200	252	市	改修	床改修、吊天井・照明改修、防護マット・防球ネット・防球カーテン設置	R2 R4		⇒	⇒					会議室、更衣室、シャワー室、放送室	
	軟式野球	成年男子	近江八幡市立運動公園野球場	土 天然芝	中堅 120	両翼 95	1	—	2,000	市	改修	スコアボード改修、ダッグアウト前フェンス設置、ファールポール設置、グラウンド改修	R5				⇒				本部席、放送室	
	トライアスロン	全種別	近江八幡市特設トライアスロン会場	スイム1.5km、バイク40km、ラン10km					—	市	仮設	コース設営	R6 R7					⇒	⇒			
草津市	水泳	競泳・全種別 飛込・全種別 水球・全種別 アーティスティックス イミミング・少年女子	(仮称)草津市立プール	日本水泳連盟公認プール(屋内・温水) ・50m:10コース、水深0~3m(可動床) ・25m:6コース、水深1.10~1.35m ・飛込:25.02m×16.66m、水深4~5m					1,326	市	新設	プールの新設	R3-R6			⇒	⇒	⇒	⇒			選手控室、更衣室、飛込ドライランド、トレーニングルーム、キッズスペース等
	バレーボール	成年男子 成年女子	草津市立総合体育館	RC造	48.6	44.8	2	2,000	770	市	改修	床研磨・塗装	R4				⇒				会議室、更衣室、シャワー室、トレーニング室、柔道場、剣道場、幼児運動室、授乳室	
	バスケットボール	少年女子	YMITアリーナ (くさつシティアリーナ)	RC造	50	40	2	1,515	1,884	市	新設	体育館の新設	H29-H30	⇒							研修室、会議室、多目的室、医務室、キッズルーム、コミュニティラウンジ	
	軟式野球	成年男子	草津グリーンスタジアム	土 人工芝	中堅 122	両翼 98	1	—	355	市	改修	スコアボード改修、人工芝の張替	R2 R4		⇒	⇒					本部席、放送室、医務室、更衣室、ミーティング室	
	ソフトボール	少年男子	草津市立野村運動公園グラウンド	土	中堅 76.2	両翼 76.2	2	—	—	市	改修	防球ネット設置	R2		⇒						会議室、倉庫	
	サッカー	少年男子	野洲川歴史公園サッカー場 (ビッグレイク)	天然芝 人工芝	105	68	3	130~ 200	1,700	市	改修	人工芝の張替	R4-R5				⇒	⇒			クラブハウス、会議室、サロニールーム、ロッカー室、シャワー室、救護室等	
守山市	バレーボール	少年女子	守山市民体育館	RC造 一部S造	42	36	2	700	937	市	改修	床研磨、遮光対策、照明改修、床支柱穴設置	R元 R6	⇒				⇒			会議室、更衣室、放送室、救護室、シャワー室等	
	軟式野球	成年男子	守山市民球場	土 人工芝	中堅 123	両翼 100	1	—	1,344	市	既設	—	—								更衣室、シャワー室、救護室、審判室、役員室等	
	ソフトボール	少年女子	守山市民運動公園ソフトボール場	土	中堅 69	両翼 69	1	—	—	市	改修	防球ネット改修	R4				⇒					
	サッカー	少年男子	野洲川歴史公園サッカー場 (ビッグレイク)	天然芝 人工芝	105	68	3	130~ 200	1,700	市	改修	人工芝の張替	R4-R5				⇒	⇒			クラブハウス、会議室、サロニールーム、ロッカー室、シャワー室、救護室等	

第79回国民スポーツ大会 競技施設整備計画【第3次】(案)

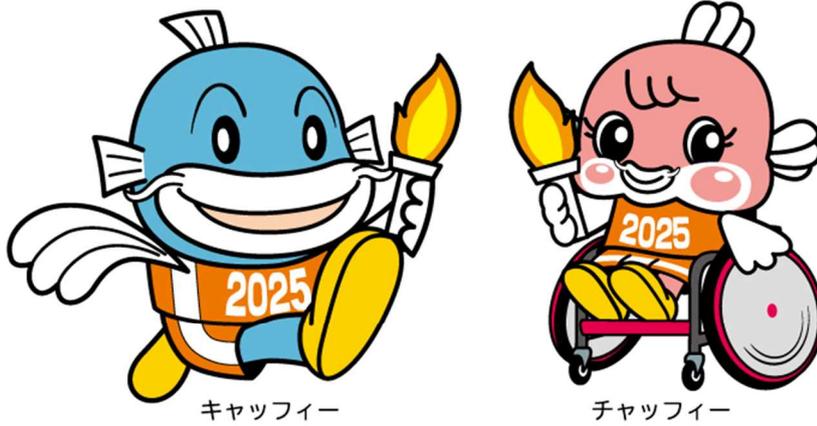
会場 地 市町	競技名	種目・種別	競技施設名	施設の概要						整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)							付帯施設等		
				構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数 等	照度 (ルクス)	観客席数 (固定席)					H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6		R7	
栗東市	レスリング	全種別	栗東市民体育館	RC造 一部S造	35	45	4	1,400	500	市	改修	床改修、屋根防水 改修、照明改修等	R3-R4										更衣室、会議 室、放送室、談 話室、救護室、 トレーニング ルーム等
	ゴルフ	成年男子	琵琶湖カントリー倶楽部		18ホール					-	民間	既設	-	-									控室、更衣室、 浴室
甲賀市	軟式野球	成年男子	甲賀市民スタジアム	土 人工芝	中堅 122	両翼 100	1	400~ 750	966	市	改修	防球ネット改修、 グラウンド改修	H30-R6	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			本部室、来賓 室、事務室、医 務室、更衣室、 シャワー室、会 議室、控室等
	高等学校野球	軟式																					
	ゴルフ	少年男子	ベアズパウ ジャパン カント リークラブ		18ホール					-	民間	既設	-	-								クラブハウス (更衣室、レス トラン、会議 室、浴場)、練 習場等	
野洲市	バスケットボール	成年女子	野洲市総合体育館	RC造 一部S造	51.2	38.4	2	2,500	1,216	市	改修	床改修、遮光対策 等、エレベー ター・トイレ等パ リアフリー化	R4-R5										小アリーナ、柔 剣道場、会議 室、控室、救護 室、幼児体育 室、更衣室、 シャワー室
	卓球	全種別												12	⇒	⇒							
湖南市	剣道	全種別	湖南市総合体育館	RC造	45.3	36.5	2	637	456	市	既設	-	-									更衣室、控室、 会議室	
高島市	ウエイトリフティング	全種別	県立安曇川高等学校体育館	RC造	27	38.1	1	590	-	県	既設	-	-										
	ソフトボール	成年女子	高島市今津総合運動公園第1グ ラウンド	土	130	115	1	285	-	市	改修	検討中	検討中										
			高島市今津総合運動公園第2グ ラウンド	土	150	150	1	-	-	市	既設	-	-										
	銃剣道	全種別	新旭体育館	RC造	41	30	1	582	-	市	改修	照明改修	R3				⇒						事務室、ミー ティング室、更 衣室
高等学校野球	軟式	高島市今津総合運動公園今津ス タジアム	土 天然芝	中堅 122	両翼 100	1	320	2,900	市	改修	スコアボード改 修、スタンドベン チ改修、ダッグア ウト改修	R2				⇒						会議室、本部 室、記録室、更 衣室、審判控 室、選手控室、 シャワー室	

第79回国民スポーツ大会 競技施設整備計画【第3次】(案)

会場地 市町	競技名	種目・種別	競技施設名	施設の概要						整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)							付帯施設等
				構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数 等	照度 (ルクス)	観客席数 (固定席)					H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
東近江市	サッカー	成年男子	東近江市総合運動公園布引陸上競技場	天然芝	71	106	1	—	1,800	市	既設	—	—							会議室、医務室、更衣室、放送室、貴賓室、シャワー室等	
			京セラ株式会社滋賀八日市工場総合グラウンド	天然芝	158	164	2	—	—	民間	既設	—	—							研修棟(会議室等)	
	ボクシング	全種別	東近江市能登川アリーナ	RC造一部S造	35	42	2	593	250	市	新設	体育館の新設	H30-R2	⇒	⇒	⇒				多目的室、会議室、研修室、医務室、談話室、更衣室、トレーニング室	
	自転車	ロード全種別	東近江市特設ロードレースコース	周回コース、1周10km以上					—	市	仮設	コース設営	検討中								
	軟式野球	成年男子	東近江市ひばり公園湖東スタジアム	土天然芝	中堅122	両翼98	1	700~1,600	3,500	市	改修	ラバーフェンス改修、トイレバリアフリー化	R4				⇒			審判控室、ロッカールーム、役員室、シャワー室	
	ソフトボール	成年男子	東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド	土	80	80	2	600~1,180	—	市	改修	防球ネット改修	R4-R5				⇒	⇒		会議室、更衣室(シャワー付)、医務室	
	カヌー	スプリント全種別	東近江市能登川水車とカヌーランド	コース長500m以上、9レーン					—	市	検討中	検討中	検討中								
ゴルフ	女子	名神八日市カントリー倶楽部	18ホール					—	民間	既設	—	—							控室、更衣室、浴室		
米原市	ホッケー	全種別	OSPホッケースタジアム(県立伊吹運動場)	人工芝	65	107	1	200	500	県	改修	人工芝の張替、散水設備改修、照明設備改修	H30-R2	⇒	⇒	⇒				多目的室、更衣室、シャワー室	
			米原市伊吹第1グラウンド	人工芝	115.8	83.5	1	320	600	市	改修	人工芝生化	H30	⇒						倉庫	
日野町	軟式野球	成年男子	大谷公園野球場	土天然芝	中堅115	両翼90	1	—	—	町	改修	フェンス・ダッグアウト等ラバー設置、マウンドの高さ調整、スコアボード改修等	H30 R4	⇒			⇒			本部室、器具庫、放送室、審判員室	
竜王町	スポーツライミング	リード全種別	竜王町総合運動公園	リードウォール2面					—	町	仮設	ウォール設置等	R7						⇒	事務室、更衣室	
		ボルダリング全種別		ボルダリングウォール2基					—	町	仮設	ウォール設置等	R7						⇒		
愛荘町	アーチェリー	全種別	愛荘町スポーツセンター秦荘グラウンド	土	106	148	1	200	—	町	仮設	防矢ネット、安全柵設置	検討中							体育館、武道館	
(所在地) 甲賀市(準備運営) 大津市、甲賀市	サッカー	少年女子	甲賀市水口スポーツの森陸上競技場	天然芝	105	68	1	—	754	市	既設	—	—							ロッカールーム、会議室、シャワー室、指導員室、写真判定室等	
(所在地) 京都府向日市(準備運営) 滋賀県	自転車	トラック全種別	向日町競輪場	RC造	1周400m					—	府	既設	—	—						選手宿舎	
(所在地) 野洲市(準備運営) 滋賀県	ラグビーフットボール	全種別	滋賀県希望が丘文化公園	天然芝人工芝	120	70	3	—	500	県	改修	天然芝の改修等	R2-R5			⇒	⇒	⇒	⇒	更衣室、シャワー室、会議室、放送室	
(所在地) 彦根市(準備運営) 滋賀県、彦根市、豊郷町、甲良町、多賀町	ボウリング	全種別	ラピュタボウル彦根	RC造	30レーン					540	—	民間	既設	—	—						

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

## 式典基本構想（案）



湖国の感動 未来へつなぐ

# わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

令和3年（2021年） ●月

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会  
滋賀県開催準備委員会

# 目次

式典基本構想策定にあたって	1
1 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要	2
2 式典の概要	4
(1) 式典テーマ	
(2) 式典の基本的な考え方	
3 総合開会式・開会式の概要	5
(1) 基本的な考え方（両大会共通）	
(2) 構成および次第	
4 総合閉会式・閉会式の概要	7
(1) 基本的な考え方（両大会共通）	
(2) 構成および次第	
5 各競技会の表彰式	9
(1) 基本的な考え方	
(2) 実施方法等	
6 炬火イベント	9
(1) 基本的な考え方	
(2) 展開イメージ	
7 式典にかかる今後のスケジュール	10
参考資料	11

## 式典基本構想策定にあたって

国民体育大会（令和6年（2024年）から「国民スポーツ大会」に名称変更）は、昭和21年（1946年）の第1回大会以来、国民の健康増進と体力向上を図るとともに、地方スポーツの推進と地方文化の発展に大きく寄与し、国内最大のスポーツの祭典として国民に広く親しまれてきました。

本県では、昭和56年（1981年）に「水と緑にあふれる若さ」をスローガンとした第36回国民体育大会「びわこ国体」を開催し、これを契機として、スポーツの普及・振興を図ってきたところです。また、同年には、「わたしにもこんな力が生きがい」をスローガンとした第17回全国身体障害者スポーツ大会「びわこ大会」を開催し、障害のある方が力強く競技する姿は多くの県民に大きな感動を与えました。

そして「びわこ国体」「びわこ大会」から44年ぶりとなる令和7年（2025年）に、第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」が、再び、この滋賀の地で開催されることとなりました。両大会では、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンとして、次代を担う人育てや、活力に満ちた真心通い合う郷土づくり、健康・体力の保持増進、競技力の向上を図ります。また、全国から滋賀を訪れる多くの人との交流の機会として、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、県民をはじめ、参加するすべての人により、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

中でも、総合開・閉会式をはじめとする両大会の式典は、「滋賀らしさ」「滋賀の魅力」を全国に発信できる絶好の機会となります。全国から訪れた人々を心のこもったおもてなしで歓迎し、交流により絆を深め、参加したすべての人の記憶に残るものにしたいと考えています。

本式典基本構想は、令和2年度（2020年度）に策定した式典基本方針を踏まえ、式典に関する基本的な考え方を明らかにし、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」における式典全体の共通指針として策定します。



昭和 56 年 「びわこ国体」開会式の様子

## 1 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要

- 大会名・開催時期・実施競技

### 第79回国民スポーツ大会

開催時期：令和7年（2025年）9月中旬～10月中旬の11日間

実施競技：正式競技 37競技  
特別競技 1競技  
公開競技 7競技  
デモンストレーションスポーツ 19競技（令和3年3月現在）

### 第24回全国障害者スポーツ大会

開催時期：令和7年（2025年）国民スポーツ大会後の3日間

実施競技：正式競技 14競技  
オープン競技 3競技（令和3年3月現在）

- 愛称

わたSHIGA輝く国スポ  
わたSHIGA輝く障スポ

選手、ボランティアをはじめ、県民、来県者など滋賀県で開催する両大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

- スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、両大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いを込めています。

## ● マスコットキャラクター

### <プロフィール>



キャッピー

2007年4月27日生まれ。  
性別は不明ですが、自分のことを「ぼく」と呼びます。  
出身地は琵琶湖・竹生島付近。性格は、どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。  
ただ、陸上では疲れやすく、すぐに昼寝をしてしまいます。  
得意なスポーツはサッカー、エアロビクス。  
見た目のわりにスピーディでトランポリンもこなしますが、頭でっかちのせいか走るとよく転びます。  
好きな食べ物はエビ。得意技はキャッピーターン。  
名前は、ナマズの英名『キャットフィッシュ』から付けられました。



チャッピー

2009年6月13日生まれ。  
2つ下の幼なじみで、「キャッピー」とは昔から仲の良い友達です。  
泳ぐことは得意ですが、陸でのスポーツは少し苦手。「キャッピー」に教えてもらっています。少しどんくさい「キャッピー」のフォローをしようと頑張りますが、たまに空回りしてしまうときもあります。  
大会のマスコットキャラクターに選ばれて少し不安そうにしている「キャッピー」の姿を見て、一緒に大会を盛り上げようと思い琵琶湖からやってきました。

※「キャッピー」と「チャッピー」の愛称を合わせると「キャッチ」になり、人の心をキャッチする、という意味を込めました。

## 2 式典の概要

式典は、両大会の開・閉会式、各競技会の表彰式、炬火イベントで構成します。

「国民体育大会開催基準要項」、「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱」、「第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会開催基本構想」および「第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会式典基本方針」に定められた内容を踏まえ、国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会の融合を図り、「湖国の感動 未来へつなぐ」のスローガンのもと、「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」にふさわしい式典を目指します。

### (1) 式典テーマ

## 湖国の感動 未来へつなぐ

### (2) 式典の基本的な考え方

① 県民総参加のもと、両大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動を共有し、ともに支え合う滋賀を発信する式典とする。

- 年齢、性別、障害のあるなしを問わず、県民をはじめ、参加するすべての人が協力し、作り上げる式典を目指します。
- 両大会を通じて生まれた夢や感動を参加者全員で共有し合える式典を目指します。
- 障害に対する理解を深め、多様性を尊重し、共生社会づくりのきっかけとなる式典を目指します。

② 心のこもったおもてなしで歓迎し、交流により絆を深め、参加したすべての人の記憶に残る式典とする。

- 「来てよかった」「参加してよかった」と思えるような心のこもった温かいおもてなしを心がけ、参加するすべての人の記憶に残る式典を目指します。
- 出会いと交流の場をつくり、人と人との絆が深まる式典を目指します。

③ 琵琶湖やそれを囲む山々など豊かな自然と共生する中で培われた環境を大切にする県民の取組を活かし、環境に配慮した式典とする。

- 自然と共生し、環境を大切にしてきた県民の取組を活かし、CO<sub>2</sub>削減など環境にやさしい式典を目指します。
- 持続可能な社会の実現に向け、県民の環境配慮意識のさらなる向上のきっかけとなる式典を目指します。

④ 豊かな自然や歴史、食や伝統芸能をはじめとする文化など、滋賀の魅力を全国に発信する式典とする。

- 企画や演出に創意工夫をこらして、滋賀ならではの魅力を広く全国に発信する式典を目指します。
- 県民が多様な滋賀の魅力を再認識、再発見し、ふるさと滋賀に自信と誇りをもつことができる式典を目指します。

### 3 総合開会式・開会式の概要

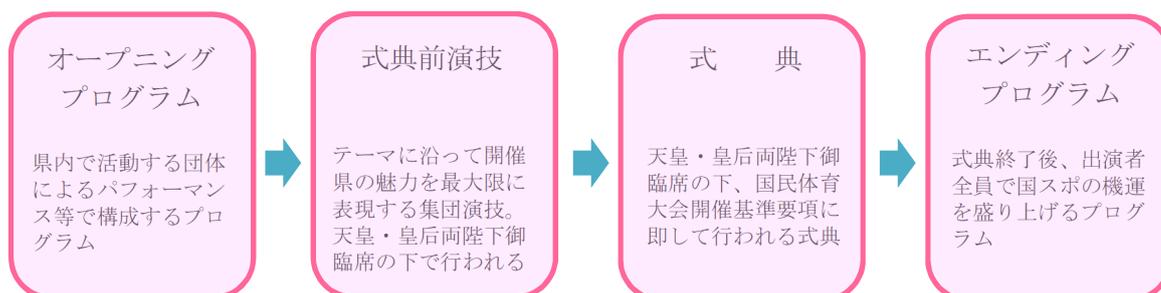
#### (1) 基本的な考え方（両大会共通）

- 企画や演出に創意工夫をこらして、広く滋賀のすばらしさを伝える内容とします。
- 年齢、性別、障害のあるなしを問わず、県民をはじめ、参加するすべての人が連帯感を感じられる内容とします。
- 全国から訪れる人々を心のこもったおもてなしで迎え、出会いと交流により絆を深める内容とします。
- 式典時間の短縮や演出方法などを検討し、参加する選手や出演者の負担軽減と式典の簡素効率化を目指します。

#### (2) 構成および次第

##### (ア) わた SHIGA 輝く国スポ 総合開会式

- 総合開会式は、オープニングプログラム、式典前演技、式典、エンディングプログラムで構成します。
- 次第の順序、記述については、今後の計画により変更する場合があります。



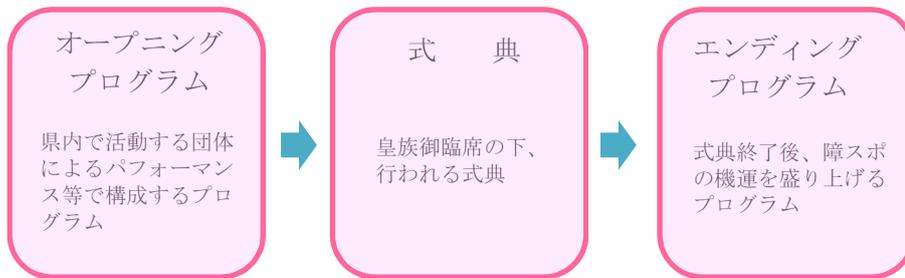
- 次第（総合開会式における式典の流れ）

- 1 開式通告
- 2 役員・選手団入場
- 3 開会宣言（滋賀県知事）
- 4 国旗掲揚
- 5 大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚
- 6 滋賀県旗・参加都道府県旗・会場地市町旗掲揚
- 7 天皇杯・皇后杯返還
- 8 大会会長あいさつ
- 9 文部科学大臣あいさつ
- 10 天皇陛下お言葉
- 11 炬火入場・点火
- 12 選手代表宣誓
- 13 閉式通告

※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に決定します。

### (イ) わた SHIGA 輝く障スポ 開会式

- 開会式は、オープニングプログラム、式典、エンディングプログラムで構成します。
- 次第の順序、記述については、今後の計画により変更する場合があります。



#### • 次第（開会式における式典の流れ）

- 1 開式通告
- 2 役員・選手団入場
- 3 開会宣言・大会会長あいさつ
- 4 国旗掲揚
- 5 大会旗・滋賀県旗掲揚
- 6 文部科学大臣あいさつ
- 7 皇族お言葉
- 8 炬火入場・点火
- 9 選手代表宣誓
- 10 歓迎演技
- 11 閉式通告

## 4 総合閉会式、閉会式の概要

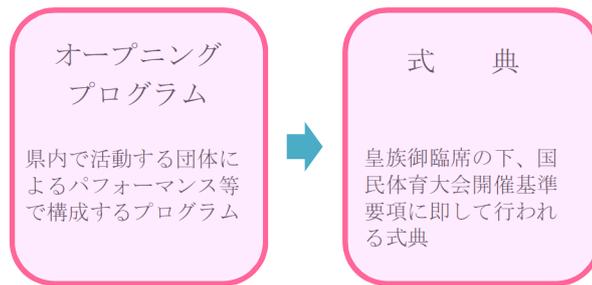
### (1) 基本的な考え方（両大会共通）

- 選手たちの健闘を称えるとともに、大会に関わったすべての人に対する感謝の気持ちを表現した内容とします。
- 全国から訪れた人々と県民との絆や、大会で生まれた感動をさらに深める内容とします。
- 次期開催の「青の煌めき あおもり国スポ・障スポ」へエールを送る内容とします。
- 国スポの盛り上がり「わた SHIGA 輝く障スポ」につなげる内容とします。（総合閉会式）

### (2) 構成および次第

#### (ア) わた SHIGA 輝く国スポ 総合閉会式

- 総合閉会式は、オープニングプログラムと式典で構成します。
- 次第の順序、記述については、今後の計画により変更する場合があります。



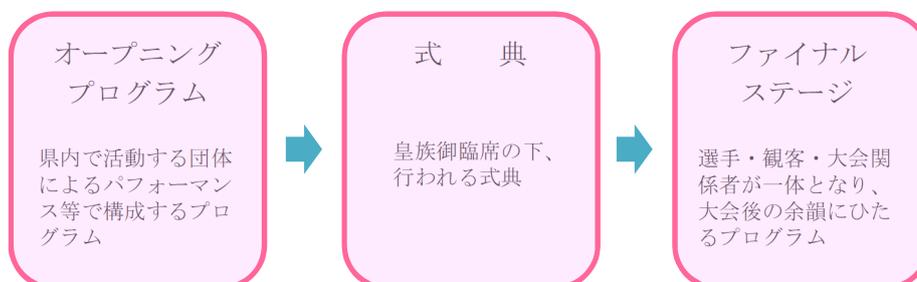
#### • 次第（総合閉会式における式典の流れ）

- 1 開式通告
- 2 役員・選手団入場
- 3 成績発表
- 4 表彰状授与
- 5 天皇杯・皇后杯授与
- 6 大会会長あいさつ
- 7 スポーツ庁長官あいさつ
- 8 滋賀県旗・参加都道府県旗・会場地市町旗降納
- 9 大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納
- 10 国旗降納
- 11 炬火分火・納火
- 12 国スポ旗引継
- 13 青森県旗掲揚
- 14 閉会宣言（滋賀県知事）
- 15 閉式通告

※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に決定します。

## (イ) わた SHIGA 輝く障スポ 閉会式

- 閉会式は、オープニングプログラム、式典、ファイナルステージで構成します。
- 次第の順序、記述については、今後の計画により変更する場合があります。



- 次第（閉会式における式典の流れ）

- 1 開式通告
- 2 大会会長あいさつ
- 3 スポーツ庁長官あいさつ
- 4 皇族お言葉
- 5 大会旗・滋賀県旗降納
- 6 国旗降納
- 7 大会旗引継
- 8 炬火納火
- 9 閉会宣言（滋賀県知事）
- 10 閉式通告

## 5 各競技会の表彰式

### (1) 基本的な考え方

- ・勇気と感動を与えてくれた選手たちの健闘を称える内容とします。
- ・簡素効率化をめざしながらも、滋賀県らしさや地域の特色を生かした内容とします。

### (2) 実施方法等

- ・各競技会の表彰式は会場地市町が競技団体と協議の上、実施します。

[参考] 国民体育大会開催基準要項細則（2020年3月20日）

抜粋

#### 8 本則第20項第5号（各競技会表彰式の要領）

各競技の表彰式は、できるだけ簡素なものとし、概ね次のとおりとする。

- ・成績発表
- ・表彰状授与
- ・大会会長トロフィー授与
- ・競技会会長閉会のあいさつ
- ・会場地代表歓送のことば
- ・国旗降納
- ・大会旗、実施競技団体旗、会場地市町村旗降納

## 6 炬火イベント

### (1) 基本的な考え方

- ・地域の特色を生かし、簡素な中にも創意工夫をこらした、滋賀県の魅力があふれる内容とします。
- ・幅広い年代の県民が参加することにより、国スポ・障スポへの機運を盛り上げるとともに、地域の連帯感を高めます。

### (2) 展開イメージ



## 7 式典にかかる今後のスケジュール

検討内容		R4年 (2022年) 3年前	R5年 (2023年) 2年前	R6年 (2024年) 1年前	R7年 (2025年) 開催年
全体計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典基本計画</li> <li>・式典実施計画</li> <li>・式典実施要項</li> </ul>	式典基本計画	式典実施計画	式典実施要項	式典運営マニュアル
式典運営	式典運営全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典の概要、次第</li> <li>・式典全体の基本的な考え方</li> <li>・競技会表彰式実施基準要項</li> <li>・炬火イベント基本方針</li> <li>・炬火用具デザイン策定方針</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施本部体制</li> <li>・動線計画および会場使用計画概要</li> <li>・参加者スケジュール</li> <li>・選手団入退場計画</li> <li>・通信システムおよび音響映像計画</li> <li>・荒天時式典計画</li> <li>・炬火入場、点火計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典実施計画の修正および実施計画策定以降の確認事項追記</li> <li>・参集範囲決定</li> <li>・炬火イベント実施方法</li> <li>・炬火入場、点火および分火、納火の演出方法</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>湖国の感動 未来へつなぐ</p> <p>第79回国民スポーツ大会 第24回全国障害者スポーツ大会</p> <p><b>わたSHIGA輝く国スポ・障スポ</b></p> <p><b>2025</b></p>  </div> <p style="text-align: center;">総合練習会・総合リハーサル実施</p>
OP・EP	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングプログラム</li> <li>・エンディングプログラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングプログラムの基本的な考え方</li> <li>・エンディングプログラムの基本的な考え方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングプログラムの構成、時間、内容</li> <li>・エンディングプログラムの構成、時間、内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングプログラムの演目、出演団体、人数</li> <li>・エンディングプログラムの演出、出演者</li> </ul>	
式典音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作・編曲者選定</li> <li>・使用楽曲選定</li> <li>・音楽隊編成</li> <li>・指導計画、練習計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典音楽の基本的な考え方</li> <li>・音楽隊編成の構想</li> <li>・音楽隊編成の方向性</li> <li>・使用曲の構想</li> <li>・作曲者、編曲者の選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作曲者、編曲者の決定</li> <li>・音楽隊決定</li> <li>・試奏会の要項</li> <li>・使用楽曲決定</li> <li>・楽器整備計画</li> <li>・使用曲CD、楽譜制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指揮者選定</li> <li>・ファンファーレの演出</li> <li>・練習計画の決定</li> <li>・練習会開始</li> <li>・服飾デザイン</li> </ul>	
式典演技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演技振付</li> <li>・演技伴奏曲</li> <li>・演技出演者</li> <li>・出演団体選定</li> <li>・指導計画、練習計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典演技の基本的な考え方</li> <li>・活用素材</li> <li>・演技展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出演団体の方向性、規模</li> <li>・演技時間内容</li> <li>・演技振付の制作</li> <li>・演技台本の制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出演団体の選定</li> <li>・練習計画の決定</li> <li>・練習会開始</li> <li>・演技マニュアルの制作</li> <li>・用具、服飾等の制作</li> </ul>	

# 參考資料

## 国民体育大会開催基準要項（式典関係抜粋）

（令和2年3月2日 公益財団法人日本スポーツ協会）

### 20 大会の式典

#### 【本大会】

- (1) 大会の式典を行う場合は、冬季大会を含め回数を同じくする大会の総合開・閉会式として、開催県実行委員会が選定した競技会場地で行う。ただし、本大会を複数の都道府県において開催する場合は、別に協議する。
- (2) 式典の所要時間は、原則として 60 分以内とする。
- (3) 式典は、できるだけ簡素なものとして、次の項目を必ず式典中に取り入れるものとする。ただし、その他の項目については、開催県実行委員会において企画の上、日本スポーツ協会と協議して定める。

#### 総合開会式

開会宣言  
国旗掲揚  
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚  
開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗掲揚  
天皇杯・皇后杯返還  
大会会長あいさつ  
文部科学大臣あいさつ  
天皇陛下お言葉  
炬火点火  
選手代表宣誓

#### 総合閉会式

成績発表  
表彰状授与  
天皇杯・皇后杯授与  
大会会長あいさつ  
スポーツ庁長官あいさつ  
開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗降納  
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納  
国旗降納  
炬火納火  
国体旗引継  
（第 78 回大会以降は、「国スポ旗引継」）  
次期開催県旗掲揚  
閉会宣言

- (4) 総合開・閉会式時に集団演技を実施することができる。

(5) 競技会終了後の表彰式は細則第 8 項により実施することができる。

#### 【冬季大会】

冬季大会の各競技会においては、開始式並びに表彰式を実施するものとする。ただし、その場合はできるだけ簡素なものとし、内容については、開催県実行委員会において企画の上、日本スポーツ協会と協議して定める。

### 2 1 国体旗引継ぎ及び保管

- (1) 国体旗は、総合閉会式時に本大会開催県代表者から次回本大会開催県代表者に引き継がれる。
- (2) 前号の方法は、大会ごとの事情に応じて行う。
- (3) 本大会の開催期間を除き、国体旗の保管は、日本スポーツ協会が行う。
- (4) 第 78 回大会以降は、「国体旗」を「国スポ旗」という。

### 2 2 大会旗及び炬火リレー

- (1) 大会旗及び炬火リレーは、開催県内に限り実施することができる。
- (2) リレーの方法については、開催県実行委員会が企画し、実施する。

# 全国障害者スポーツ大会開催基準要綱（式典関係抜粋）

（令和3年4月1日改正 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会）

## 5. 大会開催の基本方針

- （1）大会は、毎年1回開催し、各都道府県の持ち回りとする。
- （2）大会は、毎年実施される国民体育大会本大会の直後を原則として、当該都道府県において3日間で開催する。
- （3）大会会期は、国民体育大会本大会の開催決定にあわせて、開催3年前までに開催地主催者が中央主催者と協議して決定する。
- （4）競技別会期は、開催2年前の年度末までに開催地主催者が中央主催者と協議して決定する。
- （5）大会における競技運営は、公益財団法人日本スポーツ協会に加盟する開催地都道府県の関係競技団体及び日障協登録競技団体等が主管する。
- （6）大会における競技施設は、原則として、国民体育大会本大会の会場を使用する。

## 16. 式典

開会式及び閉会式は、できるだけ簡素なものとする。

# 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 開催基本構想（抜粋）

（令和3年3月22日改正 第9回常任委員会決定）

## 第3章 開催基本方針 ～滋賀が目指す大会の姿～

### 第1節 開催基本方針

開催基本方針は、両大会を次のような大会にするとしています。

#### 1 基本方針

滋賀県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。

この地で令和7年（2025年）に開催する第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会は、次代を担う人育てや、活力に満ちた真心通い合う郷土づくり、全国から滋賀を訪れる多くの人との交流の絶好の機会として、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、県民の皆さんの総参加により、夢や感動、連帯感を共有できる大会とすることを目指します。

大会の開催を契機として、県民の皆さんがより一層身近にスポーツを楽しむことのできる環境をつくり、健康・体力の保持増進と競技力の向上を図るとともに、障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を進めます。

併せて、福祉、教育、観光および経済への総合的かつ複合的な効果を通して、ふるさと滋賀の活力を更に高め、将来にわたり持続可能な共生社会の実現につなげてまいります。

#### 2 実施目標

1の基本方針に基づき、次の7つの実施目標を定めています。

#### **実施目標1 滋賀をスポーツで元気にする大会**

県民の皆さんが日常的にスポーツを「する」「みる」「支える」ことのできる環境づくりに取り組むとともに、生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を送ることができるよう、健康づくりへの関心を高め、行動につなげるきっかけとします。

#### **実施目標2 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会**

若者や女性の、大会に向けた準備や大会運営への主体的な参画を図るとともに、心身ともにたくましく思いやりの心を持った子どもの育ちや、女性がより一層スポーツに親しむことのできる環境づくりにつなげます。

#### **実施目標3 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会**

県、市町をはじめ、関係機関・団体、大学や企業との緊密な連携のもと、多様な人、多様な主体との協働を通じた創意工夫による大会準備・運営を行うとともに、滋賀の持つ「人の力」「地と知の力」を伸ばします。

#### **実施目標4 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会**

環境へのこだわりや歴史・文化・自然など多様な滋賀の魅力を県民自らが見つめなおし、全国に発信するとともに、大会準備や運営、「おもてなし」の経験をもとに、将来につながるビジネスへの展開など、地域経済の活性化を図ります。

#### **実施目標5 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会**

大会を契機として、滋賀の地で選手が育ち、その選手が指導者となって次の世代を育てるなど、滋賀のスポーツの発展を支える好循環の形成に努めるとともに、次代を担う子どもが夢を育み、実現することのできる環境づくりを目指します。

#### **実施目標6 滋賀の未来に負担を残さない大会**

既存施設の有効活用や、大会運営の簡素化・効率化を徹底するとともに、施設整備が必要な場合は、環境に最大限配慮し、大会終了後の持続的な活用が可能で、かつ、防災等多目的に使用できる、誰もが使いやすい施設としての整備を目指します。

#### **実施目標7 すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会**

障害のある人が主体的に大会に参画することや、障害の程度にかかわらず日常的にスポーツに親しむ環境を整えることで自己実現の機会を上げるとともに、障害のある人もない人もみんなですポーツを楽しむことを通じて、人と人との絆を育み、障害への理解を深め、ともに支え合う社会を築きます。

こうした実施目標を実現し、全国から多くの人々が集うスポーツの祭典（＝両大会）を成功させることによって、滋賀の新たな時代の創造につながる様々な「レガシー」を創出し、これらを次の世代に継承していくこととします。

# 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 式典基本方針

(令和3年3月22日 第9回常任委員会決定)

第79回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）および第24回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）の式典は、「国民体育大会開催基準要項」、「同細則」および「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱」ならびに「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催基本方針」を踏まえ、「湖国の感動 未来へつなぐ」のスローガンのもと、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」にふさわしい式典とする。

## 1 基本理念

- (1) 県民総参加のもと、両大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動を共有し、ともに支え合う滋賀を発信する式典とする。
- (2) 心のこもったおもてなしで歓迎し、交流により絆を深め、参加したすべての人の記憶に残る式典とする。
- (3) 琵琶湖やそれを囲む山々など豊かな自然と共生する中で培われた環境を大切にする県民の取組を活かし、環境に配慮した式典とする。
- (4) 豊かな自然や歴史、食や伝統芸能をはじめとする文化など、滋賀の魅力を全国に発信する式典とする。

## 2 式典の構成

式典は、両大会の開・閉会式、各競技会の表彰式、炬火イベントで構成する。

### (1) 両大会の開・閉会式

国スポの総合開・閉会式は、「国民体育大会開催基準要項第20項」に規定する式典、役員・選手入退場および集団演技で構成する。

障スポの開・閉会式は、国スポに準じた構成とする。

### (2) 表彰式

国スポの各競技会の表彰式は、「国民体育大会開催基準要項細則第8項」の規定により構成する。

障スポの各競技会の表彰式は、国スポに準じた構成とする。

### (3) 炬火イベント

炬火イベントは、開催に向けた機運を高める行事および両大会開・閉会式で実施する。

## 3 式典の企画・運営

### (1) 両大会の開・閉会式

開・閉会式は、県準備（実行）委員会が企画し、県実施本部（仮称）が運営

にあたる。

(2) 表彰式

国スポの各競技会の表彰式は、県準備（実行）委員会が別に定める要項に基づき、国スポにおいては、会場地市町準備（実行）委員会が関係競技団体と協議のうえ、企画・運営にあたる。

障スポの各競技会の表彰式は、県準備（実行）委員会が会場地市町準備（実行）委員会および競技運営主管団体と協議のうえ、企画し、会場地市町準備（実行）委員会および競技運営主管団体が運営にあたる。

(3) 炬火イベント

炬火イベントは、別に定める要項に基づくものとする。

# 第 10 回常任委員会

## 参 考 資 料

平成25年(2013年)10月31日  
第1回常任委員会決定  
〔令和元年(2019年)5月17日〕  
第7回総会一部改正

## 第79回国民スポーツ大会 会場地市町選定基本方針

第79回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）における会場地は、地方におけるスポーツの推進と地方文化の発展に寄与することを目的とする国民体育大会の趣旨および第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、次のとおり選定する。

- 1 すべての市町において、正式競技、公開競技、デモンストレーションスポーツおよび特別競技のいずれかの競技のうち、最低1競技を開催することを原則とする。
- 2 同一競技は、同一市町で行うことを原則とするが、2市町以上で開催する場合は、可能な限り近隣市町で行うこととする。
- 3 会場地の選定にあたっては、市町の開催希望、当該希望競技に係る各種競技会の開催実績ならびに開催準備、大会運営および大会後の地域振興に向けた考え方に加え、実施競技団体の意向、競技施設の状況、宿泊受入能力、交通の利便性等を考慮し、総合的に判断することとする。

平成 25 年(2013 年)10 月 31 日  
第 1 回 常任委員会決定  
令和元年(2019 年)5 月 17 日  
第 7 回 総会 一部改正

## 第 79 回国民スポーツ大会 会場地市町選定基準

第79回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）における会場地市町は、第79回国民スポーツ大会会場地市町選定基本方針に基づき、次により選定する。

### 1 選定の対象

この基準により選定を行うのは、正式競技（陸上競技を除く。）と特別競技の会場地市町とする。

なお、陸上競技、公開競技、デモンストレーションスポーツおよび開・閉会式会場については、別途選定する。

### 2 選定の基準

次の基準により、総合的な判断、評価のもとに選定する。

- (1) 施設所有者の同意を前提として、市町の開催希望と競技団体の意向が原則として合致していること。
- (2) 同一競技を複数の市町に分けて実施する場合は、大会運営に支障をきたさないようにすること。
- (3) 特定の市町や施設に競技が集中しすぎないように、地域のバランスに配慮すること。
- (4) 会場は、原則として既存施設を活用する。施設の改修等が必要な場合には、大会開催後の有効活用を考慮するとともに、「国民体育大会開催基準要項細則（公益財団法人日本スポーツ協会）」で定める施設基準（以下「施設基準」という。）を原則として満たすものとする。

但し、施設基準については、対象となる施設の整備状況等を考慮した上で、弾力的な運用を関係機関に対して要請する。

- (5) 競技役員等の確保、付帯施設（観客席、駐車場、練習会場等）の整備、各種競技会の開催実績、地域住民のボランティアとしての参画など大会運営に必要な環境や体制が十分整えられること。

(6) 選手・役員の輸送および交通手段ならびに宿舎を確保できること。

### 3 選定の手続き(概要)

